新京日日新聞
夕刊 十二月二十六日

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用 三一二五 營業部專用 三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 木越内之介

日滿郵便條約けふ調印

午前十一時を期し 正式調印を終る

郵便連絡上一新紀元を劃す

明年一月廿六日から實施

日滿兩國間の郵便關係を改善強化するため締結された「日滿兩國間郵便業務に關する條約」は二十六日午前十一時大同廣場外交部大臣室において兩國代表者間に正式調印を了した、こゝに日滿郵便に一新紀元を劃することゝなつた、本條約は大正十一年に締結された日支郵便約定附屬地内日支郵便業務協定並に昭和九年の日滿小爲替約定によつて規律されてゐる現在の日滿郵便關係が兩國の緊密關係の現狀に鑑み改善を要する點が少なかつたので過般來兩國郵務當局間に交渉を重ねて來た結果今回成立を見たもので、是により從來の不便は一掃され業務運行の圓滑化と一般の利益が多大に齎進されたものである、なほ新條約は明年一月二十六日より實施されることゝなつてゐる

日滿郵便連絡上に新紀元を劃する日滿郵便條約の調印式は二十六日午前十一時外交部大臣室において

日本側 南全權大使、久埜郵務局長、守屋大使館參事官、花輪書記官、秋永關東軍參謀、遞信省小笠原課長、赤羽事務官、田中交通監督部長、中村關東遞信局長

滿洲國側 張外交部大臣、藤原郵務司長、外交部大橋次長、神吉政務、筒井通商兩司長、森、梅谷、松村、菜各科長、林、交通部荒木、大和星野財政部總務司長、倉岡兩事務官、大達總務廳次長

等列席の下に行はれた、先づ兩國代表は協定文の檢閲を了した後南、久埜日本側代表、張藤原滿洲國側代表間に協定文に調印し、こゝに正式成立をみた、調印後張大臣、南全權大使の挨拶交換があり滿洲酒の祝盃を擧げ記念撮影をして調印式を終了した、式後外交部では總務廳に通報、條約公布の裁可を仰ぎ別項の如く正式發表した

條約全文

大日本帝國及滿洲帝國政府は日滿兩國間に於ける郵便關係を改善する爲左の如く協定せり

第一條 締約國は郵便物、郵便爲替及郵便振替の交換を行ひ且相手國より委託せらるる內國郵便物の遞送を爲す

第二條 締約國は自國が業務の連絡を有する第三國より發し又は之に宛つる郵便物の繼越を爲す締約國は相手國と自國が業務の連絡を有する第三國との間に於ける郵便爲替の媒介を爲す

第三條 本條約に於て郵便物とは通常郵便物及小包郵便物を、郵便爲替とは通常爲替、電信爲替及小爲替を、郵便振替とは通常振替及電信振替を謂ふ

第四條 郵便物の寸尺及重量並に郵便物郵便爲替及郵便振替の金額制限、特殊取扱の種類其の他本條約の施行に關する事項は締約國郵政廳間の業務協定を以て之を定む

第五條 郵便爲替及郵便振替の金額は日本國通貨圓及錢を以て之を表示す
滿洲國郵政廳は郵便爲替及郵便振替の自國通貨に依る受拂に付適用すべき兩國通貨の換算割合を定む

第六條 郵便物、郵便爲替及郵便振替に關する料金は之を徵收する締約國郵政廳各自國の內國制度に於ける類似の取扱に對する料金を超過せざる範圍內に……

交通部當局談

民衆の利便!

◇調印式情景

滿・蒙間空氣緊張

逆捻ぢ的に罪を轉嫁 滿洲國に抗議

去る十九日突發せる滿蒙國境ボイル湖附近における滿蒙兩國兵の衝突事件に關し外蒙共和國外交部長代理チヨイボルサン氏より二十一日附をもつて張外交部大臣宛抗議して來たがその要旨は左の通りである

十二月十九日午前九時運搬自動車八臺、乘用自動車一臺及衞生車一臺に搭乘滿洲國國境方面より來れる約三百名の日滿軍隊はボイル湖の南西滿洲國國境より八キロを距つる我ブルンデルシイ國境哨所を突然攻擊せり哨所隊長は挑戰に應ずることなく凡ゆる方法を以て衝突を避くべしとの訓令を受け居れるを以て守備隊に對し銃火を返すことなく退却を命じたるにも拘らず日滿軍隊は射擊を續け追擊したる爲哨所副隊長ホドビイ及四名の守備兵は戰死數名負傷し數名の兵は拉去せられたり

外蒙共和國は自國領土に屬することと明瞭なる地點に於ける蒙古國境守備隊に對する日滿軍の攻擊の事實を滿洲國政府に通報し日滿軍隊の……

滿洲國政府から堂々と反駁す

外蒙共和國外交部大臣代理チヨイボルサン氏よりの抗議に對し外交部では二十五日左の如き反駁電を發送し外蒙政府の猛省を促した

十九日ブルンデルス附近に於て發生せる當國國境監視隊と外蒙軍隊との衝突事件に關する貴下の抗議電を接受せり問題發生の場所は當國領域に屬するに拘らず從來貴方軍隊に依り侵入占據せられたる地點の一に屬し當該外蒙軍隊は當國監視隊の警告に拘らず撤退を肯んぜざるのみならず却つて攻擊的態度に出でたる爲我が監視隊は實力を以て其の攻擊を排除するの止むなきに至れるものにして……

第六十八通常議會 開院式擧行さる

＝聖上御親臨勅語を賜ふ＝

【東京國通】廿四日召集された第六十八通常議會は……岡田內閣第三次の第六十八通常議會晴れの開院式は廿六日午前十一時天皇陛下親臨の下に擧行された。

天皇陛下には陸軍儀式御正裝に大勳位菊花章頸飾を始め各勳章御佩用、金色眩ゆき四頭立の儀裝馬車に乘御、午前十時三十五分宮城御出門

鈴木侍從長御陪乘を承はり湯淺宮相、本庄武官長、松平式部長官、大谷宮內次官、杉村主馬頭、鹿兒島式部次長其他供奉申上げ天皇旗を先頭に近衞儀仗騎兵警衞の下に第二公式鹵簿肅々と同四十五分貴族院正門より車寄に着御、諸員の奉迎をうけさせ給ひ近衞貴族院議長の御先導にて階上便殿に入御、御先着の各皇族方に御對面、岡田首相以下各閣僚一木、平沼樞府正副議長以下各顧問官並に近衞、濱田、松平、植原兩院正副議長等に拜謁仰付けられた、かくて十一時五十分各議員は振鈴により式場に入り肅然と整列する、續いて外國交際官及び顯官も玉座の左右に居並ぶ、やがて

□

天皇陛下には松平式部長官、湯淺宮相の前行にて皇族方扈從し奉り供奉員を隨へさせられ諸員最敬禮裡に正十一時式場玉座に親臨遊ばさるゝや岡田首相は横溝內閣書記官の捧持せる勅語書を拜し御前に參進恭しく上れば陛下にはこれを御手にとらせられ玉音朗かに優渥なる勅語を賜はつた、斯くて近衞議長は徐ろに階段を上り謹んで勅語書を拜受して退下、茲に滯りなく開院式を終へさせられ、陛下には十一時五分諸員の最敬禮中に御退場同十五分御出門、天機麗はしく宮城に還幸遊ばされた、

署名議定書

業務協定調印

久埜郵務局長 謁見を賜ふ

南全權招宴

フイリッピン 前國總督來京

密殺肉販賣、供給者 嚴重に處分さる

それぐ營業停止、科料、拘留 新京署の檢擧一段落

新京署衛生係の獸肉商一齊檢索により端なくも危險極まる密殺肉を市內に持ち込むものあるを探知疾風迅雷的捜査の結果惡德獸肉商二名、密殺肉販賣ブローカー一名、カフェー業者十數名を

檢擧 爾來司法係に於て嚴重取調中であつたが犯行いよく明白となり當局は其の及ぼす影響の重大性に鑑み法の定める最大限を以て廿六日それぐ拘留又は營業停止或は科料處分に附した、即ち密殺肉販賣者本籍福岡縣門司市生れ市內羽衣町陸軍生肉用達商末峯信市（三二）は情狀最もにくむべきものあり營業停止六日間科料十九圓、市內三笠町二丁目長崎屋こと王樹春（四六）は昭和六年十月六日不正肉販賣の廉により新京署より科料十五圓に處せられたことありその後更に改悛の情なきため營業停止六日間科料十九圓、同ロースに非らざる不良肉をロースとして市民を欺瞞した大和通五十六番地孫寶堯（二四）は昭和九年四月二十五日無許可營業で科料十五圓に處せられたがこれ又改悛の狀なきため營業停止二日間科料十九圓に處され、市內カフェー十數軒に密殺肉を供給した城內西六馬路文和賓館牧野末松は拘留二十日間、カフェー組合長たる松竹は其の情許すべからざるものあり營業停止三日間科料十五圓、アリス同三日科料十圓、ゴンドラ同二日科料十圓、松見食堂同二日科料十圓

其他 はいづれも科料十五圓乃至八圓に處せられ、二十六日關係者を本署に召致してそれぐ申渡した、處分を受けた不正獸肉商カフェーは次の如くである

▲密殺肉販賣者
▲營業停止六日間（二十六日より三十一日まで）科料十九圓　羽衣町　末峯信市（三二）
▲營業停止六日間科料十九圓　三笠町二丁目　長崎屋こと　王樹春（四六）
▲不良ロース販賣者營業停止二日間科料十九圓　大和通五十六番地　孫寶堯（二四）
▲拘留二十日間　密殺肉カフェー供給者　新京特別市西六馬路　文和賓館　牧野末松

▲密殺肉販賣カフェー營業停止三日間（二十六日より二十八日）科料十五圓　三笠町二丁目カフェー松竹こと　友清ツギノ
同八島通四四　アリスこと　西澤勘次郎
營業停止二日（二十六日より廿七日）永樂町一丁目一　カフェーゴンドラこと　小吉久枝
同八島通四四松見食堂こと　大內松藏
科料十九圓　東洋軒こと東一條通　山口政一
同十圓　大陸こと祝町二丁目　窪田ムメノ
同十圓　モナミこと　山本トラ
同八圓　喫茶みどりこと老松町二丁目　藤田テル子
同八圓　ラツキーこと老松町　西山茂
同八圓　飲食店ちん屋こと老松町　石關德三郎
同八圓　マルセイユこと三笠町三丁目　小林テルノ
同十五圓　ミツワこと三笠町三丁目　荒木ケイ
同十五圓　モンパリこと朝日通八十七　西スギ
同十圓　サクラこと老松町　武居ミサオ
同十五圓　清光こと東一條通　東間コハル
▲不正獸肉販賣者科料十九圓　東三條通五十一廣正商店こと　谷岡儀助
同　市場內德田商店こと　趙書明
同　吉野町二丁目十六天合祥こと　宋輔林
同　三笠町二丁目三合祥こと　劉鴻廷
同　吉野町二丁目和田洋行
同　大和通二八益發祥こと　馬春鳳
同　祝町二丁目大北洋行こと　趙維周
同　同感德こと　趙書琨

支那鐵道部次長 唐有壬氏暗殺

兇漢は學生風の三名

【上海廿六日發國通至急報】最近外交部次長を辭任して鐵道部次長に就任した唐有壬氏は廿五日午後五時五分當地フランス租界甘西東口の自邸玄關先に於て外出先より歸り來つた瞬間玄關脇に待伏せてゐた學生風の兇漢三名の拳銃一齊射擊を受け身に數彈を浴び其場に即死を遂げた、犯人は直ちに逃走目下フランス租界當局は全力をあげて捜査中である

身に六彈命中 遂に五時十分絶命

【上海廿六日發國通】兇漢に襲擊された唐有壬氏は病院に運ぶ間もなく午後五時十分絶命した、兇漢は銃を唐氏のオーバーにくつつけた儘射擊せる爲オーバーは黑焦けとなり見るも無慘な最後であつた、彈丸は胸部に一彈、右腰二彈、左腰二彈、左股一彈、計六彈命中した享年四十二、湖北省出身、日本慶應大學理財科出身である

日支國交上に重大暗影 外務當局意向

【東京國通】前外交部次長唐有壬氏の暗殺に就き我外務當局では、斯かる最近の支那テロ事件の頻發は日支關係逆轉の兆であるとし重大關心を寄せてゐる、即ち汪兆銘、唐有壬氏等は東亞全局の平和は日滿支三國の親善提携にありとの我大方針を諒解し最近の北支問題にも此方針に隨ひ行動して來たが之等日本との親善を欲する親日派要人の身邊には魔の手が延びつつあつたのは情報によつて承知してゐる、汪兆銘氏の狙擊犯人はまだ不明であるが國民黨部の使嗾によることは殆ど明白で今回も同樣であらうと思はれる、唐有壬氏が刺客に睨まれてゐるとは聽いてゐた、北支問題、幣制改革問題に就き親日派と歐米派の政治的鬪爭は相當熾烈であるが斯く日本と接近せんとする要人をテロ行動によつて抹殺することとなれば折角日本との關係が常道に復歸せんとする折柄何人も進んで臺閣に登るものはなくなる、蔣介石氏が今にして責任を以て愛國運動に名を藉る學生の排日運動並に此種テロ行動の禁遏を斷行せざれば日支の友好關係は重大なる暗影を投ぜられるであらう、單に支那國內の事件として帝國政府は看過することを得ない

唐氏遭難に 陸軍武官室語る

【上海廿六日發國通】唐氏遭難につき陸軍武官室では左の如く語る

何ともお氣毒な話だ、日支提携を圖るため奔走した士が次々にテロリストのために殪されて行くといふことは日支國交の前途に暗影を投ずるものだ、今後の見透し等に關しては今いふべき限りでないがかうした事實の頻發する事には我々は決して無關心たり得ない

國民黨部の人物 兇漢は汪氏狙擊犯人と同樣 ―未だ就縛せず―

【上海廿六日發國通】唐有壬氏狙擊犯は未だ逮捕されず汪精衛氏狙擊犯人と同系統の國民黨部、藍衣社等の人物であることは確實である

大正天皇御例祭

【東京國通】廿五日は大正天皇御例祭―この日午前十時宮中皇靈殿に於ては高松宮殿下を始め各皇族方御參列、岡田首相以下各國務大臣、樞密顧問官、前官禮遇、陸海軍大將其他勅任官以上の文武官參列三條掌典長以下奉仕して嚴かに大祭を行はせられ　天皇陛下には御束帶に黃櫨染の御袍を召されて出御親しく玉串を捧げて恭しく先帝の御英靈に額かせ給ひ御告文を奏せられた、次で　皇后陛下御代拜の拜禮　皇太后陛下の御拜禮、各皇族方の御拜禮、參列諸員の拜禮があつて滯りなく御祭典を終へさせられた、尚同時刻多摩御陵へは勅使　皇太后殿下御使の參向があつたが又昨夕五時皇靈殿に　天皇陛下出御の上先帝の御神靈を慰め給ふ御神樂の儀が行はれ御神樂は二十六日霜おく曉にかけ奏せられた

日滿郵便條約の締結を祝す

全權大使　南次郎

本日茲に日滿郵便條約の締結を見たるは兩國親善の爲め洵に欣快に堪えず由來郵便の交換は平和と親交の表徵として尊重せられ、其の制度の完備は一國文化の水準を示すものとして重視せらるゝ所なり

今や兩國間に新に郵便交換の條約成り以て從來の不合理を削除し、兩國郵政の緊密なる聯繫を確保し得たるは、交通文化の進展に更に新しき一步を進めたるものと謂ふべく、東洋文化の開發の爲めに寄與する所蓋し尠からざるものあるべし

茲に衷心慶祝の意を表する次第なり

遞信省 久埜郵務局長

本日茲に日滿郵便條約が締結せられたことは洵に慶祝に堪へない

從來滿鐵附屬地を除く日滿間の郵便連絡は大正十一年支那と締結した日支郵便約定に據り又滿鐵附屬地と滿洲國との間の郵便交換は明治四十三年締結の日淸郵便及小包郵便約定に準據してゐたのであるが之等日支間の約定が滿洲國成立後の新事態に副はなかつたことは云ふまでもない本日締結せられた日滿郵便約定に依り從來の行き掛りを一掃し郵便連絡上の不利不便を是正して眞の郵政不可分の關係を確立するを得たことは日滿親和の上よりしても東洋平和の爲よりしても衷心より慶賀の意を表する次第である

中村遞信局長

本日茲に日滿郵便條約が締結せられた事は洵に慶賀に堪へない次第である。

從來の日滿間に於ける郵便は大正十一年支那と締結したる日支郵便約定に準據して交換して居たのであるが斯る古き約定が日滿間の新事態に適應せざる所あるは當然の事柄である

就中滿鐵附屬地については明治四十三年淸國と締約したる日淸郵便約定に準據して來たのであるが、同條約は規定古きのみならず、其の內容は附屬地郵政權を制限すること甚しきものがあつたのである、即ち附屬地より滿洲國に對しては日本切手を貼付したる郵便の差出を認められず、小包郵便の交換、郵便爲替の取組も出來なかつたのである。滿洲國に最も近接したる附屬地に於て最も不便なる制限を甘受し來つたのである。然るに、今回の日滿郵便條約により附屬地は關東州內と同樣の取扱を受くることとなり從來の一切の制限は撤去せられ、あまつさへ滿洲國に於ては其の郵便制度の根本に變改を加へられ概ね日本內地の制度に準據せらるることとなつたのであつて、本條約實施の曉に於ては、郵便に關する兩國間の墻壁は完全に除去せられ、附屬地はもとより滿洲國內至る所に於ては恰も日本內地に於けると同樣の郵便に關する利益を享受し得る事となつたのである。

斯くて兩國通信交通は十五年乃至二十五年の古き殼を破り全く闇然する所なきに立至つたのであつて、之によつて益々兩國の親善と東洋文化の開發に資する所尠からざるべく茲に衷心慶祝の意を表する次第である。

外交部大臣談話

郵政は國民の生活に深い關係を持つもので之が整備の程度は一國文化の程度を示し又之が整備の趨向は一國國勢の趨向を示すと謂ふも過言でなく今日の如く我國の諸制度が進步し日本國との特殊緊密の關係が愈々發展した時に當り兩國間に郵政業務に關する條約の締結を見たのは實に偶然でない

從來日滿間の郵務關係は中華民國時代の條約に依つて律せられて來たのであるが之は獨立國家としての體面から謂ふも面白からず且つ右條約の規定には幾多の不便の點があつたのであるが今回新條約が結ばれ兩國郵政廳間に益々協力の實を擧げ互に相補ふと共に二重施設の無駄を省くは固より各種の點で業務の合理化簡易化を圖り國民生活の便利が非常に增進せらるることとなつたのは同慶に堪へぬ所で斯る改善は日滿兩國の如き眞に緊密親善の國交關係に於て始めて可能の事と思考するのである

尚本條約及之に基き規定せらるる業務協定の準備起案に當つた兩國郵務當局の勞苦に對して大いに敬意を表する

傷病兵凱旋

白衣の勇士六名二十六日午後三時二十七分拉法から到着新京衛戍病院の一名とゝもに今夜十時發列車で內地へ凱旋するなほ明二十七日にも午後七時三十五分ハルビンから三十五名來京同日午後十時發で內地へ凱旋の予定

一家五人を支へて 街頭で饅頭賣り

健氣な室町校の一少女に 美はし警官の同情

可憐な小學生の身で一家の柱となり、親子五人の生活を支へてゐる事實があり、見るに見かねた警官がその健氣さと少女の一家に同情を寄せ、肉身も及ばぬ救ひの手を差し延ばした歲末美談

市內 入舟町三丁目三ノ三野上茂氏（三九）は昭和八年三月三日渡滿し、饅頭の屋台店を出して細々ながら一家五人の生活を支へて來たが、本年十月から心臟病を患つて床につき、主人に代る妻女キリノ（三四）さんも間もなく骨膜炎にかゝり足腰立たぬ破目に陷り夫婦とも病床につくことになつた一文の貯えさへない身とてその日から全くどうすることもならず、現在室町小學校に通學中の長女薰さん（十五）は毎日毎夜この寒空をも怯ぢず露店を出しては生活をつゞけて來たもので、何分子供のことゝて木炭一俵で間に合ふところが一俵半もかゝつて儲けは少い上に、家に歸れば兩親の看護や弟妹の世話にろくろく夜も眠れない

始末 であつたこれを知つた東二條通派出所齋藤健吉、中村浩の兩巡査は痛く同情し、中村巡査は早速各方面を驅け廻つては最もよく賣れそうな場所を探して步き格好な所を見つけていろいろ世話をし、また齋藤巡査はその俸給の一部を割いて米一斗を贈るなど全く肉親も及ばぬ親切の限りを盡してゐるがこれを受けた野上一家ではこの尊い惠みを一度に食べるのも勿體ないとて、毎日の御飯に少しづゝを取り混ぜて頂いてゐるといふ、折柄歲末同情週間に際して小澤福祉委員の耳にも入り、一家五人に對し同情金十五圓と施療券八枚を分配したところ、僅か三疊の間に親子五人が生活してゐるきしにまさる悲慘な境遇に感をうたれいろいろ同情の言葉を寄せたところ同家では世の溫かい同情に今更の如く淚に暮れてゐるといふ

感心な女生徒

受持の田原訓導語る

右について少女の受持訓導である田原先生は語る

兩親とも病床にあり、足腰も立たぬ始末で實に悲慘なものです、薰さんは大變善良な可愛い子です、何分現在は生活に追はれ學校を休んでゐますが、成績は決して惡くなく、學校では實にまじめに一生懸命勉强して居り誠に見るも氣の毒です

長春醫院長逝く

市內中央通り長春醫院長岩間志津子女史は診療した患者の猩紅熱に感染去る十七日來滿鐵新京醫院分院に入院加療中だつたが病革まり二十五日午後殉職死去、享年二十九歲、女史は東京女子醫專の出身、東京帝大附屬病院、京城醫專病院等を經て昨年九月現在の處に開業一般の信望を集めてゐたゞけにその夭折を惜まれてゐる、因に廿七日午後三時半公會堂で告別式が行はれる

滿洲國ブレーントラスト全貌【〇】

首腦部構成總舐め つけたり、弘報頭腦工作の事

山口愼一

長岡が今度の總務廳改組に際して歸した文句は一寸意味シンなものがあつた、斯うだ、「巷間法制處の出現は法制局の縮少の如く傳へられるが、さうではなく、法制處の仕事は法令を審議する單なる技術的の機關ぢやなく、國策的立場から法令を考へるのであるから、他の國策の機關である企劃處や、主計處とともに總務廳內にあつた方が、連絡、統制上便利な譯ぢやないか」と、ナント、長岡さん、國策と言ひそして企劃處や主計處に特に言及してゐるではないか……

主計處には司計科長生松淨、特別會計科長毛里英於菟などがゐる、生松、毛里が古海の部下として陣を敷き各部に對し强硬緻密な網線を投げて來たものだ

× ×

あと總舐めで行くと、秘書處長は事變以來の松木俠、そして山田弘一、平山一男、先日惜しく死んだ佐藤正一、椎葉糺民、小谷綱吉、小胎今朝治郎等の面々だ、滿鐵以來の系統は消されない

× ×

人事處、鹽原時三郎どつしりと構へ人事行政統制の把持をめざして若い連中がじつくりと仕事を進めてゐる

× ×

統計處つてのが字面の感じからか、從來若干輕く評價されてゐたのではあるまいか、こゝは向井清二が滿鐵調查課以來の俊才を引具して堅めた陣營だ、改組までは法制局の下にあつた、向井は處長心得だつた、向井も今度は宮脇や小泉需品處長らと一緒に簡任官に歷昇した、調査科長近藤三雄、總務科長槇田獻太郎、統計官井本幸一、別働隊は滿洲統計協會―大いにやつて貰ひたい

× ×

最後に情報處、襲二なんてハイカラな名だが、前の川崎寅雄と事異り、陸軍中佐のおつさんだ、宮脇よく努めるとは自他ともに認める所だが將來の仕事つて點を考へると、いろいろ頭腦的工作も必要だと思ふのだ、滿洲弘報協會の工作進みつゝあるいま高柳將軍が滿鐵に情報課を設置せしめた大抱負の文獻なども一應研究の要がある、岡田益吉、龜谷利一、高橋源一、小平康順、小濱繁、その他の面々やはらかな交際振りや文章上手や、語學やカメラの技術を本格的有機的に、將來性を持たせて活動擴充せしめるには、それこそ滿洲弘報協會の本陣を此處に持つて來てもいい位の自信と用意があつて然るべしアヂ・プロ工作員諸君ちんどん屋を見られてはいけないですぞ

× ×

先づはこれ位にして置き、詳しくはまた來年といふことにするか……

あす（廿七日）

△各學校修業式　二十八日から休暇に入る

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇明治大正流行歌の變遷（二）―實演及解說添田さつき▲七・二〇歌劇（東京）新橋演舞場より中繼▲八・〇〇連續ラヂオ小說（東京）歌行燈（一）喜多村綠郎

天氣と氣溫

明日の天氣　東西の風晴後曇
日の出　午前七時十三分
日の入　午後四時六分
月の出　午前八時十八分
月の入　午後五時四十六分
けふの氣溫　最高零下三度八　最低零下十六度九

長春醫院長岩間志津儀豫テ病氣ノ處滿鐵新京醫院分院ニ入院加療中之處養生不相叶本日午後四時三十分死去致候間茲ニ生中ノ御厚意ヲ感謝シ旁々此段御通知申上候
追テ葬式ノ儀ハ明二十七日午後二時半市內記念公會堂ニ於テ執行可仕候
滿洲國新京中央通二十六番地
昭和十年十二月二十五日
父　岩間亮
親戚總代　內藤傳四郎
醫學博士　弘中進
友人總代　遠藤柳作
久芳享介
菊地佐市
石[illegible]

演藝

浪界の新進 大浦一朗來る!

幾度か來滿を傳へられて未だに實現を見なかつたスポーツ浪曲創始者大浦一朗が愈々新春劈頭滿洲後援會の主催で一月三日、四日、五日の三日間當地記念公會堂へ來演する事になつた

大浦君は元神戸三中の野球選手でその最も得意の讀物は早慶晴れの決勝戰本年春一度帝都に彗星の如く現はれるや滿都のファンを熱狂せしめ、往時の雲右エ門の再來と稱されるに至つた、而してインテリ層に特に支持者を多く持ち此の調子で行けば今に浪界の人氣を獨占するのではないかと云はれて居る

既に十數度に渉るラヂオ放送を行ひタイヘイの弗箱スターとしてレコード界にも君臨して居るが、米若、雲等の兩巨頭も口を極めて絶讃推奨して居るし大浦自身も、滿洲は初陣の事だからベストをつくして熱演するだらうから相當期待を煽るものがある

新興東京の六大作決定 新春より撮影開始

松竹ブロックの支援の下に、異色ある作品を製作しつゝある新興キネマでは、曩に關東西撮影所の新春ラインナップを發表し、更に別項の如く大泉撮影所に「大泉俳優學校」を設立、來春早々開校し優秀なるスターを養成して、作品の向上を圖ることゝなつたが、此程同所に於て新春早々に着手すべき新作品を左の如く決定するに至つた

◇全發聲「櫻の園」＝アントン・チエホフ原作、村田實脚色・監督 ◇同「花嫁設計圖」＝中野實原作、曾根千晴監督、新進スター總動員 ◇同「雌雄」＝宇野千代原作、陶山密脚色、勝浦仙太郎監督 ◇「二筋道」＝瀬戸英一原作陶山密脚色、曾根千晴監督 ◇サウンド版「女の友情・後篇」古屋信子原作、竹井諒脚色、田中重雄監督 ◇同「洋上の感激」＝松崎博臣原作・脚色、鈴木重吉監督

パラマウント 製作スタッフ動搖頻り

確たる方針の缺除と經濟的理由に基づき、過去一ヶ月に於けるパラマウント社には實に夥しい變動が發生して、專屬俳優十一名を失つて四名を入社せしめ、監督では二名退社二名入社、脚本作家では十二名退社、十名入社と云ふ數字を示して居る

退社した俳優はシルヴィア・シドニイ、リイ・トレイシイ、ウオルター・C・ケリイ、リダ・ロベルテイ、マリナ・シコーベルト、ドロレス・ケーシイ、カスリーン・バアク、ダグラス・ブラックレイ、ハリイ・エレルベ、トリキシイ・フリガンザで、新入社はベティ・バーゲス、ベティ・ジエーン・クーパー、ロバート・フリスケ、マレイ・マックリーンである、脚本作家の中退社したのはジョン・ブライト、レオナルド・フィールズ、オスカア・ハムマアスティン、ジッグ・ヘルツイグ、ベティヒル、ベン・W・レヴィ、ユドウイン・モラン、ハムフレイ・ピアースン、デウイツド・シルウアスティン、ロバート・タスカア、シルヴィア・サルバアグ、ガアネット・ウエストン、入社したのはフランクリン・コーエン、コートネイ・ライリイ・クーパー、ウイリアム・ドレーク、ギヤレット・フオート、ヘンリイ・ジョンソン、メルヒオア・レングエル、ルイズ・ロング、ブライアン・マアロウ、ロバート・マコウレイ、リン・スタアリングである。新監督はチエスター・フランクリン（元メトロ社）レイ・マッケリイで、退社監督はマリオン・ゲーリング、ジエームス・クルーズである

寛壽郎十八番!「鞍馬天狗江戸日記」

寛プロサウンド版、大佛次郎の原作を白秋詩路が脚色し山本松男が監督した、寛壽郎のお家藝ともいふべき興味深々の娯樂映畫、新興映畫のお客には絶對に受ける寫眞である鞍馬天狗が江戸に乗り込んだその夜、系統不明の團體の兇刄に倒れた二人の志士がある、この暗殺團は誰れか勤王か佐幕か、謎を續つて鞍馬天狗の慧眼が動く、と共に奇怪な事件が次から次へと持上る、しかもこれにからまつて騒動するものに、父の仇を求めて巷に劍を抱く佐竹惠之助、彼を慕ふお雪、意地に生きる藝妓お若、傳法の女さみだれお藤、稀代の怪盗のぶちまの吉五郎等あり、波瀾萬丈の物語りが展開するのである帝都キネマ二十七日封切、スチールはその一場面

昭和十年新京演藝史（2）

天野光太郎

▽歌舞伎

五月にすわら劇じ團が來たが、まるきり受けなかつた。六月に尾上菊左衛門が來たが芝居は相當巧まかつたけれど矢張り不入りだつた。引續き亞細亞婦人聯盟なるものが東京歌舞伎新生座といふのを引張つて來たが、本願寺の宣傳劇で坊さん計り出て面白くも何ともなく、唯一人特別加入の市川海老十郎の演じ物なる寺小屋が一寸見られた位で興行は矢張り散々の失敗だつた本年中の最大豪華版に何と云つても七月始めの市川羽左衛門、片岡我童の來演だつた。これ丈けは會場を長春座として三日間大入滿員を續けた。それから暫く遠退いて十月に中村幹尾の一座が來た。死んだ雁治郎の女婿で随分良い芝居を見してくれたけれど、氣の毒に入りは少なかつた。そして十二月に入つて中山延見子、市川小太夫、河原崎權十郎、嵐璃徳の一行で、本年の掉尾を飾つた。七月の羽左に次ぐ大歌舞伎だつたが、興行は矢張り失敗だつた。要するに新京では歌舞伎は羽左を除くの外悉く失敗してゐる。此原因は何處に在るか、考究すべき問題である。

▽新劇

歌舞伎を並べた序でに新劇を擧げて見ると、之もすべて失敗の歴史である。尤も目星しいものも來なかつた。先づ一月に森千惠子一座が慘めな失敗をし、四月に軍事劇太陽團が來たが之も不入、續いて早川雪州が多大の抱負を持つて來たが、全く氣の毒な程問題にされないで淋しく去り、五月に大江美智子が來て同じくペシヤンコ。これでもう新劇に手を出す人は新京にはなくなつた。

▽漫才、漫談、講演

一月に諸藝名流大會、二月に荒川芳丸、共に問題にする程のことなし。續いて德川夢聲、益田甫、横尾泥海男の漫談が來て、一部インテリ層の注意を惹いたが、興行成績はよくなかつた。五月に入つて柳家金語樓が來演して滿都の人氣をさらつた。十月に平和ラッパの一行が來て之も相當受けた。十一月に漫才玉横山エンタツが來たが、之は期待が大きかつたのと、餘りインテリを狙ひ過ぎたのとで、案外人氣は良くなかつた。尚講談は僅に二月に神田伯山、京山呑風が來たのみで全然揮はない。

撮影所だより

—松竹・蒲田—

▽五所監督「奥樣借用書」に飯塚敏子が出演……五所平之助監督は奥樣シリーズ第一次作品として野田高梧、池田忠雄共同原作脚色の「奥樣借用書」を製作するが、ヒロインには下加茂から飯塚敏子が選ばれ其他蒲田オールスターキャストの作品となる筈

—松竹・下加茂—

▽笠井監督「暴れん坊」第一篇着手……大内弘、冬木京三、清水英朗のトリオを米重修一シナリオの「暴れん坊」シリーズ第一篇、笠井照二監督、石村蘇鐵カメラで製作開始した スパシリの傳公（大内弘）サッペの伊之吉（冬木京三）いがぐりの權六（清水英朗）おてる（宏橋照子）母親（葵令子）—だるま茶屋の女將—忠次（結城一朗）

—日活・東京—

▽銀幕からスターの御挨拶「おめでたう、春の日活」……日活東京の新春御挨拶映畫は本社營業部原案、大谷俊夫監督、渡邊五郎撮影で專屬男女優數十名、入江プロ、東京發生も動員して又最優得意の秘藝を公開、最近完成したトーキー・ステーヂの紹介等を收める筈で既に製作を開始した

△渡邊監督「純情一座」撮影完了……「うら街の交響樂」の姉妹篇として渡邊邦男監督が撮影中の「純情一座」はカジノ・ド・エンコの大レヴュー場面を以て、撮影を完了、京都に於て整理を行ふ爲、同監督は十五日西下した

雜音

新京では浪花節は絶對に當るといふ、初春めがけて早くもスポーツ浪曲の創始者と銘打つて大浦一朗の來演が宣傳される、ぬけ目のないことではある▲帝都キネマ開館す、招待日割に藝妓女給諸君を忘れないなど心憎きやり方である、常設館に女子供が入らんやうになつたらお終ひである、人氣稼業はお互につらいことである▲歳末二番線プロで打つて出た長春座新京キネマともに當る、この儘正月にぶち込んでゆけば先づ大入りは間違ひのないところであらう▲キネマ旬報十二月一日號所載「想像的藝術に關するノオト」（澤村燕治郎）の一文は映畫と觀客の心理的關係を說いた近頃の好論であつた

今日の演藝街

△長春座—二十七日まで、カザリン・ヘップバーンの「小牧師」、フランク・バック製作猛獸映畫「バンジャ」、栗島すみ子の「日本女性の歌」

△新京キネマ—二十八日まで モンテイ・バンクの「モンテイの荒武者飛行」ドロテア・ウイーク、ヘルタ・テイーレの「黒衣の處女」尾上菊太郎、歌川絹枝の「槍供養」

△豐樂劇場—二十七日まで、ジドン・バーカー、ジョージ・ラフトの「歸らぬ船出」フリードリッヒ・ダルスハイム監督記録映畫「バーロの嫁取り」ケリイ・グラントの「接吻とお化粧」

△帝都キネマ—二十六日まで招待興行、リリー・トレッシーの「時計は踊る」高田稔鈴木傳明の「突破無電」

十二月二十七日 金曜 丁丑 先勝 除 婁宿

●一白の人 不滿なりとて舊業を改むるな辛抱するが吉 甲と乙と辰が吉

●二黑の人 他人の事よりも内を顧み平靜を保つべき日 丙と丁と丑が吉

●三碧の人 目的は容易に遂げ得ず苦勞のみ加り來る日 辰と丙と丁が吉

●四綠の人 萬事に氣を配りて無理をせざれば安全なり 甲と辰と丁が吉

●五黄の人 邪氣自ら一家に籠る日病厄其他の災を防げ 丁と辛と丑が吉

●六白の人 頭角次第に顯れ他の信用加はり向上を呈す 辛と癸と丑が吉

●七赤の人 心を引締め萬事を處すれば意の如く運ぶ日 丁と壬と丑が吉

●八白の人 毀譽褒貶に拘はらず堅實に身を處すべき日 丙と辛と壬が吉

●九紫の人 當初の目的に專念努力すれば繁榮を來す日 乙と丁と丑が吉

滿洲大豆對獨輸出 約三割五分減
＝滿洲特産中央會調査＝

滿洲大豆の對獨輸出量は本年に入つて急減を辿り過般來の獨乙經濟使節との貿易交渉に於てこれが恢復をはからんとしてゐるが滿洲産中央會の調査に依れば今後の船積豫約迄含めて本年大豆の對獨輸出高總計は約一萬噸で對獨輸出高は約五十萬トンの少量に止る模樣であるこれを前年度に對比すれば三割六分及び三割四分著減し滿洲大豆の對獨輸出が愈よ困難化して來たので各方面極度に注目されてゐる

住友財閥が
廣西省の開發に乘出す

【大阪國通】南支那廣西省は豫て資源開發に就き日本の援助を求めて居たが確聞するに興中公司理事長十河信二氏並に最近渡支せる大河光瑞氏の斡旋により住友財閥と廣西政府との間に日支合辦會社設立契約が最近成立した模樣である、右に關し住友側は一切を嚴秘に附し否定して居るがその内容は住友側で千五百萬圓を出資して銅山開發に着手するもの丶如く傳へられてゐる

特産出盛期に入り
奉天在荷激增

【奉天國通】奉天に於ける雜穀の出廻狀態は最近茲一週間以來馬車搬入は大豆四十七車高粱八百四十車、(一車平均五石)鐵道搬入は奉吉、奉山南沿線より大豆十車、高粱十九車(一車百八十石)の多量に及び現在の在荷は大豆約八千石、高粱一萬一千三百石で十一月末に比較すると倍額の增加である

米系商會が
清津から大豆積出し開始

【ハルビン國通】昨年二回に亘つて北鮮より大豆の對歐荷積みを敢行して業界の注目を惹いたワッサード商會は明年一月下旬を期し濱綏線沿線で買付けを行つてゐた普通大豆八千噸を牡丹江經由清津港船積みに依つて對歐輸出を行ふこととなり北鮮三港の國際港としての地位は漸大重要性を加へる事に至つた

三種統税法
公布さる

三種統税法は廿六日勅令を以て公布されたが現行綿紗統税麥粉統税及水泥統税の制度は舊奉天省及黑龍江省に於ては舊政權時代の制度をその儘踏襲し又舊吉林省に於ては大同二年五月、舊熱河省に於ては同年七月何れも財政令を以て施行しその税則は奉天省統税章則を準用したものであり之が爲税法の大綱たる税率乃至課税の方法等には差異はないがその他の部分たる罰則又は取締規定中に地域的に相違せる點多く施行各種の不便尠からず且現行法の儘では既に改正整備せられたる他の消費税とも權衡を失する點尠くないのみならず治外法權の撤廢滿鐵附屬地行政權の調整乃至移讓問題とも關聯し之が處理解決上にも支障多いので茲に右三側の統税法を綜合統一し課税及取締に關する規定を全國的に均一ならしむると共に從來の統税法に存したる不合理なる點を能ふ限度に於て是正せんとする爲である

阿片法及び施行令改正

阿片法中及阿片法施行令中改正の件は廿六日勅令を以て公布されたが右改正の理由は次の通りである

一、阿片は阿片卸賣人を通し小賣人に賣下げる制度であつたところ阿片專賣の合理化を圖る爲阿片卸賣人を廢し專賣官署より直接小賣人に賣下げる必要を生じた事

二、阿片吸飲器具製造、人の規定を設ける必要を生じたこと

三、阿片僞和物の製造販賣を取締る必要を生じたこと

滿洲煙草會社
明春四、五月ごろ運轉開始
煙草消費税實施で頗る有利

本年七月より新京輕工業地區臨河街に工場建設中の滿洲煙草公司にあつては既に三千余坪の工場建築を完成し目下ボイラー其他諸機械の据付準備中にして明春四五月頃には運轉開始の運びに至る豫定であるが、同公司は滿洲國法人として設立された許可第一號の煙草製造事業であつて國産品として重要使命を有する關係から日滿兩國政府に於ても多大の望みを嘱し、技術方面指導の爲め大藏省からは斯界の元老專賣局前製造部長石井淳二郎氏を顧問に、國家的煙草の鑑識家と定評のある技師木村豐之介氏及び計畫計算の大家副參事保阪二氏を嘱託に推擧斡旋し、朝鮮總督府專賣局からは機械及葉組の專門技師と精通熟練の指導技術工數名を派遣する事になつたので業界の權威者練驗家揃ひの堅實た陣立を以てやがて優良なる新製品の數種を滿洲市場に出現せしむるものと期待される、尚滿洲國に於ける煙草消費税の實施が附屬地內外均等になつた事は公司にとつては頗る有利な立場に置かれたと云へるだらう

中旬到着貨物

商工會議所調査に依る十二月中旬中に新京驛に到着せる貨物は左の如くである(單位瓲)

品目	數量
穀類及種子	七五三、五三〇
野菜及果實	一、三一二、八八〇
食料品	一四八、九六〇六
茶類	一、一二、八六三
海產物	二四一、四六四
酒類	一九五、九六三
ゴム類	二、一一、六二七
煙草	八〇、二四七
綿類	三八八、七六〇
紙類	九〇七、八八四
建築材料	二、一〇四、六九八
其他	二、一三〇、三一四

中旬發送貨物

十二月中旬に於る新京驛發送貨物に付て商工會議所の調査の結果は左の如くである(單位瓲)

品目	數量
混保大豆	五、〇七〇
普通大豆	一、二九〇
高粱	一五〇
小豆	六六〇
吉豆	二四〇
豆粕	三〇四
木材	一一二
獸骨	一一六
雜穀	四七六
其他	三、四九二
合計	一〇、九二〇

中旬院內在貨

商工會議所調査に依る十二月中旬中の新京驛院內在貨の種類及數量は左の如くである

品目	數量
大豆	三、二五九
其他の豆類	一、〇八二
米及籾	一、三二〇
高粱	二、七七三
苞米	一、一〇九
粟	二〇六
小麥	三、〇一八
穀類及種子	九六二
豆油	一、〇〇一
豆粕	七一三
計	一五、四四三
其他　木材	六、六一八
薪炭	一、六四二
麥粉	一、四一八
綿糸布	一、〇〇〇
蔴袋	七〇〇
計	一八、二〇四
合計	四五、〇二五

歐亞連絡の國鐵運賃
國鐵運賃率に改正
來年三月ワルソー會議に提出

【奉天國通】國際連絡幹線たる京濱、濱州、濱綏線の歐亞連絡運輸には今日まで北鐵接收後も舊北鐵自體の賃率を採用して居るが鐵路總局に於ては右運賃を國鐵現行運賃率による國幣建に變更することとなり來年三月ワルソーに於て開催される第十一回歐亞連絡運輸會議に右改正を提議する筈である、尚現在歐亞連絡驛は國線はハルビンのみとなつてゐるが新に新京追加を提議することとなつてゐる

尾藤商議理事
大連から歸る

新京商工會議所理事尾藤正義氏は去る廿日、廿一日大連商工會議所に開かれた全滿商議理事會に出席、廿四日午前八時五十分着列車にて歸來したが氏は語る

今度の理事會は事務打合せ及び來年一月廿日奉天で開かれる商議聯合會の豫備會議が主なる目的であつたが滿洲國課税問題に關し當局の意向も既に決定せられるかに傳へられ、聯合會の要望するところと大分懸隔があるため更に協議を重ねる事になり、治外法權撤廢後における日本人商工會議所に關し、當局においても目下制定中の商會法に吾々の意見も充分容れられたいと思ふ

日滿棉花協會に
四萬五千圓寄附

【大阪國通】紡績聯合會では廿四日委員會を開き重要對策委員會の組織の強化と生産調整に關する小委員會の中間報告と對蘭印、對米棉布輸出問題及日埃會商の經過報告後左の案を可決した

一、第八十二期印棉運賃割戻決算は一俵に付一圓五十錢

一、日滿棉花協會に對する第二年度後半期寄附金として四萬五千圓を醵出する事に決定した

新線關係の論功行賞
土建で功績調査

滿洲事變に於ける土建關係功績調査は滿鐵建設局にて事務擔當第一次十三組百四十五名第二次二十二組六百二十四名を上申近く行賞發令を見る筈であるが今回第三次(自昭和九年四月一日至十一年三月三十一日)功績調査を行ひ上申することとなつた右功績範圍は主として新線工事に關係せる組並に人員に限られてをり第三次も卅組百名以上にのぼる見込であるが十四日午後建設局庶務課功績係藤田馨氏は滿洲土建協會に關係各組事務擔當者を招集調査事務の澁滯手落なきやう詳細説明した

十一年中に償還する公社債

【東京國通】興銀調査十一年中に償還期到來する公社債總額四億千余萬圓にして本年に比し二億餘圓增加し右增加の直接原因は五分利公債國債に償還期限が到來するものが重る爲めである

王子製紙總會

【東京國通】王子製紙會社では廿四日午前十一時工業俱樂部で定時株主總會を開き既報の

一、會社資本金一億四千九百九十八萬八千圓を三億圓に增加するの件、但し當會社資本一億四千九百九十八萬八千圓は此の資本增加の前に金額の拂込みを完了すべき事

一、會社は五百萬圓を公益事業に寄附する事

一、當會社は從業員の幸福增進の爲三百萬圓を寄附する事、但し右金額は五ケ年以內に拂込むものとし第一回拂込の時財團法人を設立するものとす

等を可決した

土建ニュース

▲決定工事　●奉天鐵路局

▲奉山線綏荒省一八六號橋梁水害復舊其他工事　單獨四千六百二十三圓八十九錢　岡組

▲皇姑屯貨車職場給水排水設備工事　單獨一萬一千三百圓　清水組

▲河北驛河南連絡船發着棧橋脚根固工事　單獨二千四百圓　福井高梁組

▲皇姑屯工廠汽室附屬建物新築工事　單獨一千三百三十圓　間瀬組

▲新京檢車區新營車庫停留線給汽管其他修繕工事　●保線區　單獨百九圓　河村組

▲新京驛機關區五噸トラッククレーン修繕工事　單獨四十五圓　日滿

▲公主嶺驛教育室ペチカ築替工事　單獨九十五圓　放熱

▲立山驛南北第一種聯動裝置新設ニ伴フ線路盛土工事　單獨百十二圓七十五錢　●滿鐵鐵道部　宮崎虎

▲豫告工事　●關東廳土木課　大連工業學校々舍新築工事　入札期日十二月二十六日　日本工業

商況欄
(十二月廿六日前場)

海外經濟電報

項目	相場
倫敦銀塊 先限	二〇片八分七
同	不申
紐育銀塊	四九仙四分三
孟買銀塊	五二留比二分一
米英爲替	四弗九三仙八分七
米日爲替	二八弗八〇仙
米支爲替	二九弗五〇仙
アナコンダ	四六弗八分七
スチール	二九弗八分五
英日爲替	一志二片八分一
英支爲替	一志二片五分五
印日爲替	休會

▲米棉　現物 一二仙〇〇　三月限 納會　一月限 一一仙六〇

▲印棉　[illegible]

▲市俄古小麥　[illegible]

金銀市況

●上海標金　●大連金鈔票　[illegible]

爲替相場

▲大連爲替　▲上海向　▲臺灣向　[illegible]

株式相場

▲阪神日米爲替　▲阪神日英爲替　▲大阪株式(短期)　▲大連株式(短期)　▲奉天株式(短期)　[illegible]

商品市況

▲大阪棉糸　▲大阪棉花　▲大阪人絹　▲橫濱生糸　▲大阪期米　[illegible]

特產市況

●大連大豆　●豆粕　●豆油　●哈爾濱大豆　●高粱　●小麥　●神戶豆粕　[illegible]

新京取引所相場(十二月二十六日前場)

●大豆(一石値段)　●(混合百斤値段)　●鈔票對金票　[illegible]

［大正九年十一月十四日 第三種郵便物認可］

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行 壹圓五拾錢 特別 一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本 勇
印刷人 水越内之介

排日學生運動主流は 英系宗教學校に在り

微溫的表面糊塗策續かば 斷乎たる方針に出でん

【東京國通】全支に亘る學生の排日運動につき各方面の情報を綜合するに、その中心は北支自治反對の口火を切つた北平の燕京大學より上海、南京、漢口方面の各大學に波及して行つたもので、其裏面に國民黨部の暗躍のあることは疑の餘地なく、且又排日運動が英米就中英國系のミッションスクールに多い事實は、幣政改革に日英對立の狀況を想起し、帝國政府として最も不快なる印象を受けてゐる次第であるが、我方としては英米を相手とせずあくまで蔣介石氏を、國民政府の責任に於て之が取締を要求する方針を持し、南京當局が學生の排日毎日デモを、生溫い慰撫工作に依つて表面を糊塗するならば、國民政府首腦部もこれを默認してゐるものと見做し、帝國政府は斷乎たる方針に出づる決意を有しつゝ、英米の間接援助、黨部の動き等の成行に深甚の注目を怠らない

對日戰爭準備は 明春五月迄終了

それまでは消極的抵抗策で 南京政府の密令暴露

南京政府の對日新抵抗策として中華民國廿四年十二月六日中央政府より第三團長蔣委戰宛ての密令は左の如くである
天津諜報に依れば平津青年學生の反日抗滿運動は近年その頂點に達し、愛國工作は充分に表現せられてゐるが、日本側はこの工作と政府との間に何等かの關聯ありと認めつゝあり、依つて平津C・C組織に命令し、各同志をして今後消極的抵抗に改めしめ、以て日本側の藉口を免かるべし、冀察政務委員會の組織は汗奸份子を容納するものには非ず實際は中央は對日問題に關しては既に、新抵抗方策を決定し、明年五月以前には準備を了り、絶對的に對日宣戰をなすべく既に馮玉祥を抗日軍總司令に内定せり然ども未だ戰爭準備未了時期に於ては遷延政策を以て目的とす、平津辨事人事は各學校の學生に傳和し、暴爆の行爲をなし中日外交事件を發生せざる樣注意すべし

唐氏暗殺の背景は 明瞭だが言へぬ

意味深長の時事新報論說

【上海廿六日發國通】唐有壬氏狙擊犯人はフランス租界工部局及支那公安局で徹宵捜査に當つたが未だ逮捕されない犯人の背後關係に就ては頗る複雜なる政治的關係が伏在するものと見られてゐるが今朝の當地支那紙時事新報は唐有壬氏暗殺事件と題し大略左の如き論說を掲げた
前外交部次長唐有壬氏暗殺の背後關係が那邊にあるかを臆測する事は頗る容易で大した困難も感じない、獻身もつて外交政治の舞臺に活躍盡力した氏の暗殺は決して從來ありきたりの暗殺事件と同じに論ずる事は出來ない、氏は性溫厚にして寡言、決して個人的怨恨を買ふ人ではなかつた、從つて此度の悲しむべき暗殺は氏が外交に盡力した事に端を發して居る事は明瞭なる事實である、吾人は一日も早く犯人が逮捕され暗殺事件の眞相が明るみに出される樣希望する

"唐氏暗殺は 遺憾至極" 磯谷少將語る

【上海廿六日發國通】暗殺された唐有壬氏が果して眞の親日家であつたか否かは問題外として對日外交の衝に當る要人の一人々々が見えざる魔手の犧牲となつて倒れた事は日支兩國々交の將來に一抹の不安を投げ與へたものであるが駐支武官室磯谷少將は廿六日談話の形式で左の如き意見を發表した
此樣な暗殺事件の頻發する事は唯國内問題であつたとしても隣國日本としても眞に嘆かはしい事である、假に日支國交に原因の動機があるならば日支國交是正に衷心より希望をもつて努力してゐる我々は遺憾の限りである" 原因が對外か對内か今の所何も申上げかねるが唯唐有壬氏が元來日本を理解し日支國交が歪曲されて居る今日三年間に亘り外交の衝に當つた人で今日兇彈に倒れたといふことは原因を知らぬ者からみれば、或は對日外交そのものにあつたと憶測せざるを得ない從つて此兇變が日支國交に及ぼす影響は頗る大なるものがある、唐有壬氏が生前誠心誠意日支國交の融和に努力した事に敬意を拂ふと共に衷心より哀悼の意を表する次第である

郵便條約調印式席上

李大臣、久埜兩氏の挨拶

日滿郵便條約に根據する業務協定調印式に於ける李交通部大臣、久埜全權委員間に左の如き調印慶祝の挨拶が交換された

李交通部大臣挨拶

日滿郵便條約に根據する業務協定の辨法は數ヶ月間に亘り貴國との間に屢次磋商の結果兩國政府の意見一致し今日この慶賀すべき圓滿なる調印を見、明年一月二十六日より新業務協定實行されることになつたのは寔に建國以來の重要懸案解決上甚だ慶賀すべきことなるのみならず從來締結されたる條約が日滿兩國の特殊的關係に對して相應しからぬものあり種々不便を感ずる點あつたが今次の新條約は一切の不便を除く事が出來た故に余は今後貴我兩國民間の親善關係も亦必ずや一層敦厚を加ふべきを信ずるものである、今盃を擧げ一は本業務協定の調印を祝賀し二つには御盡力を賜はつた日本側各位に謝意を表し且つ久埜委員閣下並に隨員各位の遠路來滿された辛苦を謝すこととする

久埜全權委員答詞

只今李交通部大臣閣下の述べられた日滿郵便條約に根據する業務協定辨法は今次兩國政府の意見完全に一致し本日慶賀すべき圓滿なる調印を完了し明年一月二十六日より新業務協定の實行を見ることとなつた
今次締結された新條約により從來踏襲し來れる日華間の諸條約が種々不便を引き起した點を一掃することが出來たことは同慶の至りに堪えない、今後貴我兩國民間の融合不可分の親善關係は必ずや更に鞏固を加ふべきを深く信ずる次第である、今杯を擧げて一つには本業務協定の調印を慶賀し二つには滿洲國各方面の各位に謝意を表し且つ李交通部大臣閣下並に隨員各位の御辛苦を謝すこととする

南京、上海、漢口三市 戒嚴令布かる

【上海廿六日發國通】南京政府は學生運動の擴大と惡化の現狀に鑑み更に此機に乘じ反動分子の蠢動するを虞れ廿六日午前一時を期し南京、上海漢口の三都市に戒嚴令を布いた

ダラッチ路 又もや爆彈事件

【上海廿六日發國通】今朝十時半頃中山水兵狙擊事件のあつた場所より約百米西方のダラッチ路上にて一名の支那人屑屋が往來に遊んでゐた子供と衝突した、瞬間屑籠内に入れてあつた强力な爆彈が大音響と共に爆發した、陸戰隊では直ちに巡ラ兵を派遣し、工部局警察は負傷者屑屋を病院に運び手當を加へてゐる、一方嚴重なる臨床訊問を行つてゐるが場所柄、時期柄と言ひ爆彈の出所、目的をつきとめ

冀東防共自治委員會の改稱 冀東防共自治政府へ

殷汝耕氏政務長官に就任

【北平廿六日發國通】十一月廿五日通州で成立した殷汝耕氏を首班とする冀東防共自治委員會は丸一ケ月目の二十五日委員長殷汝耕、委員池宗墨、王廈村、張慶餘、張硯田、李海天、趙雷、李允聲、殷太新氏等の連名を以て組織を改めて冀東防共自治政府とし殷氏を政務長官に公推する旨の宣言を發し同時に殷長官が軍政を總攬することゝなつた

新政府の宣言内容

【天津廿六日發國通】冀東防共自治政府の宣言内容大略左の如し
本會は曩に冀東民衆の切望に依り惡辣なる統治より離れて十一月廿五日冀東防共自治委員會を組織し宣布してより一ケ月民情日に益々沸騰するも堅豪尚ほ多く瞻顧す、汝耕等防共自治の初志を貫徹せんが爲め既に遷延する時に非ずと爲し衆議一決本日本會を改組して冀東防共自治政府と爲す委員長殷汝耕をして該政府政務長官と爲し全區軍政事務を總攬し冀東を磐石に置き福祉の增進を圖る、汝耕等非才と爲すも憂國の赤誠人後に落ちず願はくば此不拔の信念に基き海内明達の士と共に協力邁進せん茲に宣言す

塘沽の接收に依り 財政基礎確立

【天津廿六日發國通】冀東防共自治政府は今回改組宣言發布してその政治的基礎愈々固きを思はせたが財政的方面に於ては從來の收入七百萬元の外更に今回塘沽の接收に依り鹽稅收入約二千萬元餘を收める事となり同稅に對する外國借款償還割當て二百萬元を控除するも財源は極めて豐富となり愈々同政府の將來は洋々たるものあるに至つた、尚同政府は近く通州より唐山に移轉する模樣である

三大將に 本日男爵を 授けらる

【東京國通】天皇陛下には廿六日午後二時松平式部長官の前行、鈴木侍從長以下を從へさせられ宮中鳳凰間に出御湯淺宮相侍立の上爵位親授式を行はせられ、滿洲、上海兩事變當時關東軍司令官たりし本庄繁大將並に當時の陸海相荒木貞夫大將、大角岑生大將に對し授爵の勅語を賜ひ湯淺宮相より左の爵記を授けさせられ入御遊ばされた

正三位勳一等功五級 大角岑生
正三位勳一等功一級 本庄繁
正三位勳一等功四級 荒木貞夫
勳功により特に男爵を授く（各通）

年末年始の本紙

月	日	
十二月	廿八日	夕刊
〃	廿九日	夕刊
〃	三十日	夕刊
〃	卅一日	休刊
一月	一日	朝刊
〃	二日	休刊
〃	三日	休刊
〃	四日	夕刊
〃	五日	夕刊

新京日日新聞社

冀東政府との共同工作に就き

冀察委員會重要協議

【天津廿六日發國通】キ察政務委員會委員長宋哲元氏は廿五日午後六時秘密裡に來津蕭振瀛、陳覺生、秦德純氏等を中心に密議を凝らした模樣であるが右は殷汝耕氏の冀東防共自治委員會が政務委員會との合流勸告を跳ねつけ更に政府を組織した緊急問題に對する對策協議にあつたものの如く、キ東自治政府が擴大强化するに至れば冀察政務委員會の唯一の財源は絶たれ蜃氣樓上の存在となる恐れ多分にあるので之れが切崩しにあると觀られてゐる、然し切崩し策は既に不能なる以上キ察政務委員會も新たに防共自治を標榜する趣旨に基きキ東自治政府との共同工作に急轉換する運命にあり戰區の政府組織宣言を機として河北の政情は又も注目すべき狀態となつた

冀東で紙幣發行

【天津廿六日發國通】冀東防共自治政府では近く政府旗を制定するが又資本金百萬元の冀東銀行を設立し分行を十數ケ所に設け紙幣を發行する事となつた

牧野内大臣辭任 後任齋藤子

【東京國通至急報】牧野内大臣の辭任は本日御聽許となつた牧野内大臣の辭任による後任は齋藤實子と決定本廿六日午後二時三十分親任式が擧行された

松岡滿鐵總裁 今夕來京

【大連國通】廿六日歸任した松岡滿鐵總裁は廿七日新京に赴き南關東軍司令官に對し上京顛末の報告を行ふ筈である

中野正剛氏 今夜來京

中野正剛氏は二十七日午後九時着來京の豫定である

和知中佐大連着

【大連國通】新任支那駐屯軍司令部附步兵中佐和知鷹二氏は赴任の途廿六日午前八時入港のばいかる丸で來連、遼東ホテルに投宿したが、大連に一泊の上新京に赴き關係各方面に挨拶の上再び大連に引返し海路赴任の豫定である

北寧鐵路局長に 陳覺生氏

【天津廿六日發國通】北寧鐵路局長殷同氏は離津青島に赴き辭表を提出したので後任に平津衛戍司令部總參議陳覺生氏が決定、陳氏は廿五日來津したが本日就任式を擧行する模樣である

"氣永に情勢を 見てやりたい"

土肥原少將北支より歸奉

【奉天國通】北支情勢視察中であつた奉天特務機關長土肥原少將は廿六日午後三時飛行機で奉天に歸任した、同少將は「まだ關東軍當局への報告前であるから詳細に話すことは出來ない」と前提して左の如く語つた
冀察政務委員會を中心とする北支自治政權の樹立は北支民衆最初の希望は滿たされなかつたが委員長たる宋哲元氏の努力如何に依つては大いに將來を期待し得るものと思ふ、要は支那人がやつてゐる事だから氣長に好意を以て見守つてやらねばならぬ、殷汝耕氏の冀東防共自治委員會と宋哲元氏を委員長とする察政務委員會との合流は兩者の北支自治に對する精神が相一致するに至らば兩者の對立は完全に解消して當然合流するに至るであらう、然し目下のところの見透しについては確たる事は言へない、北支の學生運動は國民黨部の使嗾による事は略々確實のやうである、共產黨が之に乘じたことは種々の方面から確實なる證據が擧つてゐる、然し北支の民衆は此種運動に反對してその輕擧妄動を嫌惡してをり當局も嚴重取締りを行つてゐるからこれ以上には擴大を見ないであらう、自分の察政務委員會最高顧問說は自分としては全く關知するところではない、某國の北支に於ける策動の事實はあるが之等も早晩事情が明瞭となるに伴れてその實體を認識するに至り種々亂れ飛ぶデマの如きも漸次解消するに至るであらうと信ずる
尚同少將は昨夜十一時四十分發列車で關東軍へ視察狀況報告のため急遽新京へ向つた

喜多大佐歸任 現地情勢を報告

【東京國通】支那駐屯軍、關東軍當局に中央部の意向を齎し重要協議を遂げた參謀本部支那課長喜多大佐は廿六日午前七時十分東京驛着歸任、午後參謀本部に於て現地の情勢を詳細に說明、重要報告をなした

金總監の初巡視

金總監は二十六日午前九時から湯淺警正を初め各科員を帶同し長通路、大經路兩署の初巡視をなし、署員に訓辭した
尚廿七日午前九時から南關、四道街兩署の巡視をなす

人事往來

▲中野琥逸氏（吉林省公署總務廳長）二十五日午後來京 國都ホテル
▲濱田芳彥氏（熱河省赤峰縣參事官）同
▲大山猛氏（濱津實業家）同
▲小林軍敬氏（滿洲國官吏）同
▲菅野定俊氏（土木請負業）同
▲渡邊渉敏氏（洋畫家）同
▲林肇氏（最高法院長）二十五日午後内地へ
▲加藤敬三郎氏（朝鮮銀行副總裁）同京城へ
▲飯塚敏雄氏（司法部刑事司長）同内地へ
▲筑紫熊七氏（參議）同歸京
▲于芷山氏（軍政部大臣）同
▲中川謙四郎氏（正隆銀行大連支店員）二十五日午後來京 名古屋ホテル
▲東善彌氏（東京小杉商店員）同
▲岡木健氏（大阪、岡本商店員）同
▲若井三子雄氏（奉天、航空會社員）同
▲牟田正雄氏（安東、隆興公司）同ヤマトホテル
▲平野馨氏（奉天、稅務監督署副署長）同
▲稻永義一氏（奉天、官吏）同
▲吉野淑計氏（吉林高等法院推事）同
▲中村三郎氏（大連貿易商）同
▲實吉吉郎氏（奉天防疫研究所長）同
▲濱田中將（駐滿海軍部司令官）二十六日午後歸京

航空往來

▲長原亘氏（大林組）二十六日午前ハルビンより
▲永山大介氏（楡谷組）同
▲塚原喜氏（濱江省公署）同
▲菅原次郎氏（會社員）同ハルビンより
▲眞田金城氏（請負業）同大連へ
▲古川太一郎氏（淸水組）同午後ハルビンへ
▲井上淸一氏（同）同
▲立花良介氏（大同殖產重役）同午前新義州へ

日滿郵便條約も來る一月二十六日から實施の運びとなつたが、これまさしく日滿郵便連絡史上に一新紀元を劃するもの▼これによつて從來の兩國相互の煩はしい關係が一掃されると共に一般民衆の受くる利便は頗る多大なるものがあらう▲その一例として現在附屬地の日本郵便局で引受けた滿洲國宛の郵便物の如き、更に滿洲國の內國郵便料に相當する滿洲國切手を貼付することになつてゐるが今後はその必要がなくなるわけだ▼小包郵便、郵便爲替なども同樣で從來その交換取組が出來なかつたもの、今回の條約によつて附屬地は完全に關東州內同樣の取扱を受くることゝなり、こゝに一切の制限は撤去された▲北滿特別區の解消で、寬城子がいよいよ本年中で新京特別市に編入されることになつたが、これで同地居住民も行政上從來の繼子扱ひから解放されるわけ▲願くばこれを機會に施設萬端思ひ切つた改善が行はれんことを吾等は居住民諸君とゝもに熱望する

社説

日滿郵便條約成立

日滿兩國の郵便連絡上一新紀元を劃した日滿條約は二十六日兩國代表間に調印を了し正式成立した、本條約は日滿不可分關係に鑑み兩國間の郵便關係を圓滑にし現行滿洲國の郵便制度を能ふ限り我が內國制度に接近せしめて現存の不便を一掃し一般民衆の利便を增進せんとしたものである從來の日滿郵便關係は大正十一年に締結された日支郵便諸約定及び滿鐵附屬地日支郵便業務連絡協定並に昨年日滿間に締結された小爲替約定とにより規定されてゐるが、此等諸協定は小爲替約定を除くほかは何れも日支間に締結されたもので日滿兩國の緊密不可分關係の現狀に照し改善する點多く更に今まで取扱はれなかつた業務の新設を必要としてゐたものを過般來日滿郵務者間に折衝を重ねた結果成立をみたものである、而して新條約の趣旨は

一、日滿間を共同單一の郵便領域としたこと

二、日滿郵便制度を接近せしめたこと

三、滿鐵附屬地と滿洲國との郵便關係を原則として關東州と同一としたこと

等にして、交換局の增設による郵便物配送のスピードアップ化、從來取扱はれなかつた引受時刻證明も內容證明も課金別納等特殊取扱の新設、價格表記金額を五百圓より千圓に引上げ、通信切手券の新發行等によつて一般の利便は大いに增進されたのであるが、日滿不可分關係の强化によつて從來日支間の約定を踏襲せしものが新條約の締結によつて一德一心の兩國の緊密關係を促進する上に大きな意義を持つものといはなければならない

緊張せる對外蒙問題

去る十九日ボイル湖西方に發生せる滿蒙兩國兵の衝突事件に關し外蒙政府は廿二日抗議文を滿洲國に通報し來り「損害の賠償、被拉致兵の返還、責任者の處罰、滿洲國政府の公式謝罪及斯る事件の再發防止に關する保障」を要求し「凡ての責任は日滿政府に歸するものなり」と全く事實を歪曲せる抗議をなした、勿論滿洲國政府においても同抗議に對し二十五日反駁電を發し外蒙側の猛省を促したが、元來滿洲國政府では滿洲里會議において兩國代表機關の交換を提議し兩國親善關係の樹立を企圖せるに拘らず外蒙側では滿洲國の誠意を無視し排滿的態度を固持し最近では政府首腦者一行はモスコーにあつて何事か劃策さへしつつあると傳へられてゐる、兩國の全面的親善關係を確立することなくして地方的國境事件の解決處理をなしても更に第二第三の國境紛爭事件の發生をみるは火をみるより明らかである、現に二十四日オラホドガ附近において外蒙兵の不法越境射撃事件が勃發し異常な緊張を示すに至つてゐる、勿論かゝる外蒙政府の排滿的態度はその背後に某國の指導、策謀が多大に影響するものとみられてゐるが日滿當局としては外蒙政府が速に極東の情勢を認識し滿洲國と協調する態度に出ることを望んで止まないものである、若し外蒙側に於て依然として現存の如き政策に出づるにおいては事態の重大化と共に憂慮すべき結果を招來するやも計り難いからである

滿洲國通貨問題並に金融事情（五）

滿洲中央銀行副總裁　山成喬六述

D　通貨價値維持方策と支援

前に申し上げました樣に、國幣のパー維持に就きしては前途の見透も付いて居りますし、他に之を攪亂すべき原因も見當らないやうでありますが之には非常な努力と各方面の協力を必要とするは言を俟たない所であります。元來通貨價値維持に對しては各國共非常な努力を拂つて居るのでありまして英國の如きは藏相並に英蘭銀行總裁に操縱を委ねたる莫大なる爲替平衡資金の設定により通貨の安定を期して居る現狀であり、日本亦圓價維持の爲めに資本逃避防止法並に外國爲替管理法の公布實施を見たる外に四億圓に及ぶ在外正貨を擁して居り、これによりて滿洲國が日本に於て起債せる北鐵買收資金一億八千萬圓中海外送金分、並に來年一月一日に期限の到來する滿鐵英貨社債日本政府肩替六百萬磅、日本通貨にして約一億圓（尤も內四割は日本人の手持にして日本銀行券にて支拂はる）の支拂をも諾つて行く譯でありまして、日本の爲替に影響を及ぼさずに濟むのであります。然るに滿洲國自身としては日英の如き豐富なる爲替資金を有せず、而かも對金圓パーの持續が日滿經濟の緊密性にとり必要であり通貨に對する不安が滿洲國の財政經濟並に日本の對滿投資に重大影響を及ぼす處あるに鑑みるとき、國を擧げて之れが目的達成に努力邁進しなければならぬのであります。

そこで之が補强工作として何れ爲替管理法の發布を見ることゝ存じます。尚此國策遂行に當りましては日本の諒解と支援を必要とすることは勿論でありまして之れは何れ財政部に於て其方法を盡されることゝ存じますが、各位におかれましても何卒充分の御協力を賜はらんことを希望して止まない次第であります。

殊に國幣圏內より外への支拂を輕減して國際收支の均衡を計る爲めには通貨の統制を必要とすること勿論でありまして、然も滿洲國內に於ける國幣外の取引は全部之を國幣取引に轉換し國內全部國幣を以て統一するのでなければ通貨の統制が行はれないと信ずるものであります。此點に就ても各位の御協力を得ば幸甚の至りです。

尚餘談に亙ることでありますが、國幣の各紙幣は當初急造した爲め多少不體裁の點も免れませんので之が改善の先驅としてこの十一月には五角紙幣の新券を出し、漸次他券に及ぼし改良して行きたいと考へて居ります。この五角紙幣は國民の崇拜する財神像を入れた相當ハイカラなもので必ず好評を博し得ることゝ信じて居ります。補助貨は奉天造幣廠に於て鑄造致して居りますが、增築工事も近く完成を見ますので日本に讓らない製造能力を發揮することゝなつて居ります。

二、金融事情

（1）滿洲中央銀行

本行は一國の中央銀行であると同時に一般普通銀行の業務を兼營して居り、全國に百三十九ヶ所の店をもつて居ります。此の點各國の中央銀行と聊か趣を異にしますが、一に滿洲に於て銀行業務未だ發達せず、本行自ら地方的金融に活動しなければならない滿洲特殊の經濟實情に基くものであります。

開業と同時に着手したことは紙幣の統一でありまして、三官銀號並に邊業銀行は何れも異れる紙幣を發行し各銀行の紙幣間に相場の差異あの手同一銀行により發行された紙幣の間に於ても其の相場日々變動し又國內各地間の爲替は恰も外國爲替の如き相場の爲變動が存在し各地金錢舖をして自由に跳梁せしめたのでありまする本行は先づ此等十五種百卅六券分種に亙る舊紙幣の整理統一を進めると共に紙幣たる國幣の普及、通貨價値の統一を計る爲め開業の初め先づ全國爲替無手數料を宣言し、或は飛行機を利用して通貨の輸送を行ひ或は新紙幣製造が間に合はない一時の便法として四千萬圓に上る舊官銀號紙幣に中央銀行の印を押して國幣の代用にする等、鋭意通貨の補給に資すると同時に各店爲替資金の充實にも努力して參りました

次に滿洲殊に北滿の金利が比較的高率なるに鑑み、開業以來三度に亙り利子の改訂を行ひ、以て全滿金利の低下を圖る一面、先きに御話した通り送金無手數料にて資金の移動を容易にし以て金利の統一を得ました。資金の融通に就きましては農業國として特產金融には特に力を注ぎつゝあります。

（2）外國側銀行

外國側銀行中營業せるものに支那側として中國、交通、金城の三行あり、就中前二者に對する民間の信用は當初寧ろ本行を凌駕する程でありましたが、これは本行が云はゞ從來の地方銀行たる官銀號等の合併されたるものゝ如く見らるるに對し前二者が何れも本國に於ける二大發券銀行たることが先入して居つたによるものと思はれます。從つて今日尚相當の信用を以て營業して居ります。

日本側銀行としては正金、鮮銀を始めとし地場銀行の正隆銀行、滿洲銀行あり、何れも日本人の多い各地に支店を設置し盛んに營業して居ります。

一般會計豫算綱要　昨日兩院議員に廻附

【東京國通】一般會計豫算綱要は大藏省で作成中のところ二十五日午後作成を終り二十六日午前貴衆兩院議員に廻附したがその內容は左の如くである、尚特別會計は本年內の閣議に提出する運びに至らなかつた爲明春早々閣議に附議した上一般會計と同樣貴衆兩院に廻附する筈である

豫算總額（單位千圓）

區分		金額
△歳入	經常部	一、四五一、八四二
	臨時部	八二六、二八八
	普通歳入	一四五、九七三
	公債金	六八〇、三一四
	計	二、二七八、一三〇
△歳出	經常部	一、三五七、二〇〇
	臨時部	九二〇、九二九
	計	二、二七八、一三〇

△各省別

省	區分	金額
皇室費		四、五〇〇
外務省	經常部	一七、二九五
	臨時部	一四、四〇九
	計	三一、七〇三
內務省	經常部	五二、九一二
	臨時部	一三一、三八三
	計	一八四、二九五
大藏省	經常部	四六二、九四四
	臨時部	二八、六〇三
	計	四九一、五四七
陸軍省	經常部	一九一、一五九
	臨時部	三一六、三四二
	計	五〇七、五〇二
海軍省	經常部	二六六、八八六
	臨時部	三二四、九七〇
	計	五九一、八五六
司法省	經常部	三六、四六八
	臨時部	三、〇八五
	計	三九、五五四
文部省	經常部	一三一、五一四
	臨時部	一〇、九九五
	計	一四二、五一〇
農林省	經常部	三四、一二三
	臨時部	五六、〇七一
	計	九〇、一九四
商工省	經常部	五、七〇四
	臨時部	一三、二〇一
	計	一八、九〇六
遞信省	經常部	一八一、四八七
	臨時部	一五、〇四五
	計	一九六、五三二
拓務省	經常部	二、一八七
	臨時部	一六、八二八
	計	一九、〇一六
總額	經常部	一、三五七、二〇〇
	臨時部	九二〇、九二九
	計	二、二七八、一三〇

長崎醫大學長に大庭教授

【東京國通】京城帝大總長に推薦された高山長崎醫大學長はその就任交渉を拒絶すると共に今回辭意を表明した爲め文部省は後任として名古屋醫科大學教授大庭士郎氏を長崎醫大學長に拔擢することに決定して居るが其の發令は手續の關係上高山學長の依願免官と共に來春一月十日頃になる模樣である

日獨を假想敵に　ソ聯陸海空軍の擴張　―機關紙イズベスチアの報道―

【モスクワ廿四日發國通】ソヴイエット聯邦政府は日本及びドイツを假想敵國として不斷に陸海空三軍に亘る軍備の大々的擴張を行ひつゝあり果然二十四日の政府機關イズベスチア紙はソヴイエット海軍の飛躍的發展に就き左の如く發表、暗に日獨兩國に對し警告的口吻を洩した

今やソ聯海軍は陸空兩軍と共に躍進、殊に潜水艦及び驅逐艦は過去四ヶ年に於て四倍に增加し沿海防備艦隊は十一倍に强化された最早ソ聯は東西何れの脅威にも何等の痛痒を感じない

丁香盧漫筆（卅八）

●東亞革命への第一歩（二）

サア斯うなると是か非でも東亞大革命の偉業を成功させなくてはならぬのだが此こそ眞に大問題である、尤も東亞の大半を占むる支那が翻然昨非を悟りて今是に返り日本の革命運動に合流して呉れゝば何も譯は無いが此れが亦問題なのである。早い話が北支の自治運動にしても澎湃として人民の自治運動が起きたかと思ふと甞て自治反對の學生示威運動が是亦澎湃として起る五六千にも達したといふのだから北平としては空前の事であらう、自治か自治反對か究竟眞相如何と云ふことになる。北平電報は何應欽が五十萬元で各大學を買收した結果だといふが此れも支那に有りそうなこと何故此方が百萬元で買收して自治謳歌運動に轉向させなかつたか矢張何應欽の方が一枚役者が上なるが爲めか

×

北支進出なるものも何もそう目新しい事でなく元や淸は別とするも遼や金や皆朝食前にやつて除けて居る、滿洲と支那本土との斯かる古き歷史關係を熟知の支那人から見れば又かと言ふて笑つてる位のものだらう、今日昔のやうに簡單に行かぬのは家が建込んで五月蠅い隣近所が增えたからのことである、支那丈なら支那自身もあきらめ易く北支工作も絲瓜も要らずより以上のものがとふの昔に片付いて居る筈だ處が北支五省などと吹掛けてやつと冀察兩省それもヌエ的とあるのだから時代や時勢もそう馬鹿には出來ない

×

日本が北支に進出する一方南京政府に對して歐米依存主義を捨てよと迫る又軍縮會議では均等要求でハンヅ、オフ、チヤイナ（支那から手を引け）の底意を明かにする、此が東亞革命で無くて何んであらう少くとも東亞革命の機運を作らうとして努力して居ること丈は事實である。日本が小さな島國で尊王攘夷乃至鎖國攘夷を叫んでから正に七十年今や東亞の天地で尊王攘夷を叫んでるのである。余等日本人ありて此の時運に際會したのであるが而し此は明治維新の大業以上の大業で甘く行けばよいが下手にマゴ付くと飛んでも無いことになりはせぬか

×

一體革命は單獨では出來ない維新の大業でも薩長土肥の聯携か出來ての話である薩摩や長州丈では出來る筈のものでない、支那革命でもそうだ武昌の黎元洪や灤州の張紹曾などが蹶起したから出來たので其後も袁世凱や段祺瑞の力を借り最後には露西亞の力まで借りたじやないか、國民黨單獨の力では毛頭無い、それを國民黨單獨の力のやうに自惚れてるから今の南京政府に大危險が潜むのだ。薩長二藩が維新前諸藩の間に奔走して外交上の大工作を行へると同樣日本も東亞の大革命を前にして周圍の英米露佛の間に外交工作を必要とせぬか、それは月並外交で革命ではないと云ふものあるかも知れぬが、先方が此方の意思通り動かぬ場合は怎うする。日本の主張通り何年かの後名實共に五五五に成つたとしても英米一致對日の局面が展開したら十五即ち二一では無いが今日でも永野全權が日本國民は此際四一の最惡の場合に直面するかも知れぬ大覺悟を要すると日本國民は其位のことに閉口垂れはせぬが此れでは英米にハンヅ・オフ・チヤイナの退去命令を喰はす譯に行くまい、從つて支那の歐米依賴主義がそう簡單に片付かぬことになる、結局東亞の革命談何ぞ容易ならんと云ふ點に落着きはせぬか、露西亞もやつ付けて仕舞へ英米も追拂へ此の攘夷論には支那も異議無からうが日本丈の尊王ではウンと云ふまい

商況欄（十二月廿六日後場）

金銀市況

●上海標金　上海相場　クリスマス　誕譯聖節　休會

●大連金鈔票

寄付	九八、四〇
引	九七、三〇
高	九八、六五
安	九七、二〇
出來高	三〇万

	十二月二十八日限	一月十三日限
寄付	九八、三五	九八、二〇
歩	八、四〇	八、三〇
	八、五〇	八、五五
	八、三〇	八、四五
	八、一〇	八、一〇
	七、八〇	七、七〇
	七、九〇	七、八〇
引	九七、三〇	九七、一五
高	九八、五〇	九八、五五
安	九七、二五	九七、一〇
出來高	二七七万	四一六万

●大連鈔票銀大洋　現場　一一〇、四〇　一一〇、一〇

爲替相場

▲上海爲替

	第一回賣	第一回買	第二回賣	第二回買
▲日本向	一〇三、三七五	一〇三、八七五		
▲倫敦向	一志三片三分一	一志三片三分一三		
▲紐育向	二九弗一六分七	二九弗二分一七		

▲大連爲替

▲上海向	一〇四、六〇〇
	一〇四、七五〇
	一〇四、九〇〇
	一〇五、一〇〇
	一〇四、八五〇
高	三萬五千
▲煙台向	一〇四、五〇〇
	一〇四、七〇〇
	一〇四、九〇〇
	一〇五、一〇〇
出	一〇五、〇〇〇

株式相場

▲大連株式（短期）

品名	寄	引
五品	一八、三〇	一八、三〇
豆新	二〇、三〇	—
錢鈔	一五、一〇	—
東新	一六八、三〇	一六七、七〇

▲奉天株式（短期）

品名	寄	引
鐘新	一三四、九〇	一三四、三〇
滿鐵	五一、三〇	五八、五〇
二新	二四、六〇	二四、六〇
日產	七一、九〇	七一、八〇
滿取	一五、七〇	一五、七〇
東新	一六八、七〇	一六八、八〇
鐘新	一三四、五〇	一三四、四〇
日產	七一、六〇	七一、六〇
大新	九四、三〇	九四、〇〇
五品	一八、六〇	一八、六〇
豆新	七一、六〇	—
電甲	一七、〇〇	—
同乙	一四、七〇	一四、六〇
滿鐵	五八、三〇	—
東拓	一四、三〇	一四、三〇
東亞	一〇、三〇	一〇、三〇
日醫	五六、〇〇	—
滿興	二三、九〇	—
滿毛	一七、五〇	—
二新	二四、三〇	二四、三〇
優先	一七、八〇	—

各地市況

●哈爾濱大豆

一月限	一、一〇〇
二月限	九、八七五
三月限	九、八七五
出來高	—

●同小麥

一月限	一、三〇五
二月限	一、三五七五
三月限	一、三六二五
出來高	—

▲神戸豆粕

十二月限	四、〇五	四、〇五
一月限	四、〇四	四、〇四
二月限	四、〇五	四、〇五
三月限	四、〇六	五、〇六
四月限	四、〇七	四、〇七

新京取引所市況（十二月二十六日後場）

現物（一石値段）　定期（混合百斤値段）

	寄	引
先物 大豆	一四、一〇	四車
十二月限	五、三七	三車
一月限	五、三六	五、一四
二月限	—	—
三月限	—	—
四月限	—	—
高粱 二月限	三、三〇	五車
	二、五五	八車

手形交換（二十六日）

金票	四五九枚　五七四、八四二
鈔票	一枚　九、〇〇〇
國幣	三二三枚　三三〇、九九六

鮮魚小賣相場（二十六日）

百匁ニ付

品名	最高	最低
活タイ	一、二〇	八四
氷タイ	七二	四八
チヌタイ	…	…
連子鯛	四六	二四
アマダイ	六一	二〇
中小ダイ	七二	六〇
ニベ	…	…
ブリ	四四	三五
カツオ	…	…
ヒラス	四四	…
サワラ	二六	二四
サバ	一三	一二
アヂ	一二	…
カイズ	一一	八
ヒラメ	一五	八
ボラ	一三	四
ココチ	一二	九
コノシロ	…	…
キス	一四	八
イワシ	一五	一〇
ムツ	一二	…
アコウ	…	…
サヨリ	六〇	一〇〇
マナカツオ	九七	一〇〇
カナ頭	…	…
ホーボー	一〇	七
タコ	一六	一〇
イイダコ	…	…
イカ	一四	…
水イカ	…	…
イセエビ	一、〇六	六〇
車エビ	六六	二四
アナゴ	…	…
中エビ	…	…
貝柱	二四	一八
カニ	…	…
ナマコ	四〇	一〇
アワビ	六〇	四八
カキ	三〇	一〇
ハマグリ	…	…
シジミ	一五	…
アサリ	…	…
カマボコ	九〇	一九
チクワ	…	…
マグロ切身	一、二〇	三五
ニベ同	四五	三五
ブリ同	八〇	五三
ヒラス同	…	…
サワラ	…	…

東邊道縱貫鐵道の期成理由(二)

安東 東邊道縱貫鐵道期成委員會

三、經濟的意義

(一)本鐵道は東邊道を縱貫することによりて、能く資源開發の使命を完了することを得べし。要望さるゝ縱貫鐵道は、之を綜合すれば當に長方矩形の地勢を形成すべき寬甸、桓仁、通化、柳河諸縣を各々其の中央部に於て縱に貫通するを以て自ら各縣の開發を誘致することとなるべく、從つて此の點政治的に經濟的に將又治安上よりするも橫斷鐵道よりも遙かに效果的はり

(二)東邊道奥地より海港乃至市場に至る經路は第一安東、第二多獅島に出づるを最短矩路とす

海龍より、安東迄(縱貫鐵道經由) 四二六、六粁
多獅島迄(縱貫鐵道經由) 四五〇、二粁
鎭南浦迄(滿浦鎭線經由) 六六七、三粁
城津迄(惠山鎭線經由) 五九九、〇粁
通化より
安東迄(縱貫鐵道經由) 二六四、六粁
多獅島迄(縱貫鐵道經由) 三〇二、二粁
奉天迄(瀋海線經由) 三八九、四粁
平壤迄(滿浦鎭線經由) 四六四、一粁

(三)縱貫鐵道は經濟的中心地に結ぶを以て其の經濟的使命を全うし得べし

鐵道の建設は地方產業の開發の促進すべきも、之が消費、集散地又は加工地に連結せざるに於ては其の經濟的使命を全うする事を得ず然るに安東は日、滿、支貿易の中繼地として、將又加工地として發達し來りたるを以て、此の地に連結することにより本鐵道は其の機能使命を全うすることを得べし。

四、國防的意義

(一)本鐵道は國防的重工業資源を開發し得べし。

東邊道は未開の鑛物多量に埋藏せられ、天與の寶庫と稱せられ來り鐵、石炭等の重工業資源は固より鉛、石綿等の如き國防上必須の資源も多量に埋藏せらる。本鐵道は斯る地帶の而も長方形の地域を縱貫することにより、其の敷設の曉には是等重要資源は剩す處なく開發せられ、其の現在日滿兩國をして吾人の最大關心に堪えざる防上の資源問題を或程度解決し得るものと信ず。

(二)東邊道の重要資源地帶は國防上好適なる位置に存在す。

如何に豐富なる重要資源地帶なりと雖も邊境の地にあるときは、一旦非常の際は所有危險不利を感じ、之が利用の途を阻碍さるるに至るべし、東邊道地帶は日滿兩國々防上より見れば、北滿熱河方面に比し國境を距つること遠く非常時に於て脅威を受くること尠し。

五、交通的意義

(一)本鐵道は國家的見地より觀ずるに日滿を結ぶ中央幹線としても有意義なり日滿交通路の根幹は、南は滿鐵本線に據り大連よりするものと、北は京圖線に據り北鮮よりするものと存するも、本鐵道は朝鮮鐵道と相連繫し更に奉吉、拉賓兩線と相結ぶを以て、前記兩者の中間を行く中央幹線としての保命を有するものと目し得べし。

(二)本鐵道は滿鮮貿易に於ても有利なり

安東及新義洲は從來滿鮮貿易の中繼地として重要なる地步を占め來りたるが、本鐵道の建設により更に鮮、滿間の連輸交通の便を增大し兩者間の貿易は益々進展するに至るべし。

(三)本鐵道が安東乃至連絡港を豫想さるゝ多獅島を終端港とせるは、東邊道物資の重要仕向地たる日本內地並支那との貿易關係上最有利なり。

安東は多獅島鐵道及多獅島築港の完成により三道浪頭を內港とし多獅島港を外港となすことを得べく、從て兩港を併用することにより呑吐力を增大し、安義の兩國境都市をして益々價値づけることとなるべし、而して東邊道の物資は現在に於てすら其の性質上對日支貿易に於て重要なる地位を占むるもの、殊に鑛業資源開發に伴ひ莫大なる呑吐能力を必須とすべく、從つて此の海陸交通路の連繫は對日支貿易上著しき進展を企圖し得べし。

東滿

民政の礎石を强化

間島省 第三次集團部落 各縣に亘って二十個所建設

【延吉國通】間島省公署の三ケ年繼續事業とし將來の民政の基石として重視されてゐる集團部落建設は第一次、第二次の建設に於て五十九個所の完成を遂げ豫定より六個所超過せる現狀で收容せる戶數は六千百十九戶の多きに達し更に本秋の特別治安肅正工作に伴ふ別途計畫にて更に十二ケ所建設中であるが、治安維持並に地方行政に寄した效果は尠からざるものがある、間島省公署に於ては更に第三次の計畫につき立案を急いでゐるが大體次の如き各縣となる模様である

縣名	建設數	收容豫定戶數
延吉縣	五	五〇〇
和龍縣	五	五〇〇
汪淸縣	五	三〇〇
琿春縣	三	三三〇
安圖縣	四	五六〇
計	二〇	二、一九〇

總局從事員の被服單一化

【吉林國通】鐵路總局に於ては從事員の被服を單一化し以て被服の合理化經濟と執務上の能率增進を目的として實用服を選定し從事員に對し大量仕入による安價提供をなすこととなつた、右實用服はA型B型に分たれ價格は廿五圓乃至三十圓の低廉で各方面から喜ばれてゐる

大連支社長野氏 市役所囑託に

市設市場は此の程落成し二十四日市役所では請負者志岐組より引繼を行つたが開業は一月になる模樣である

大連支社の通信部長として約一ケ月半管野支社長の入院後に於ける通信一切を擔當してゐた長野政來氏は十二月十日附を以て大連市役所の囑託に轉向した

長途バス隊 木蘭北方で匪襲さる

【ハルビン國通】廿三日早朝ハルビン發下流に向つた長途バス第九縱列は廿四日午前九時頃木蘭を去る廿滿里の地點で突如百數十名の匪賊の襲擊を受けた、警乘員は直ちにこれに應戰せるも匪團は多數を賴んでバス隊に肉薄し來つたので乘客滿載のバス三臺は警乘員のトラック十臺を殘し全速力で木蘭に引返し救援を依賴、木蘭より騎馬並に徒步部隊が急行したがその後の情報なく警乘員の安否が氣遣はれてゐる

襲擊された水運局長途バス隊のその後の情報に關し濱江省公署着電に依れば同バス隊は二十四日午前十時匪襲され遂に日本人運轉手一名(氏名不詳)滿露人五名拉致されトラック七臺、荷物六を掠奪し直ちに逃走を開始したが急報に接した通河警察隊五十名、木蘭警察隊八十名はこれを追擊、同午後四時に至りトラック四臺日本人一名、滿人三名を奪還した、その後の情報は目下不明

兩警察隊 滾地雷匪を追擊 日滿人四名を奪還

【ハルビン國通】既報二十四日木蘭縣より通河縣に向ふ途中滾地雷匪約百二十五名に襲

南滿

安東の治水工事 明年から着手

徹底的防水施設へ

安東の本夏の未曾有の水害に對し國務院總務廳では長岡總務廳長自ら現地を視察し之が徹底的防水施設の必要を認め銳意これが具體案考究中であつたが愈々二百萬圓三ケ年繼續事業として治水工事を行ふ事となり第一次たる康德三年度豫算外國庫負擔契約金六十萬圓を計上した

國幣統一後の瓦房店狀況

(瓦房店支局發)金票國幣一致後における瓦房店附近の實況を見るに錢莊業者中に倒產者は見ないが其大部は廢業と共に轉業するものが多いが然し彼等錢莊業がその生命とすべき兩替の根本を奪はれたにかゝわらず一つの倒產者を出さずに濟んだ事については大なる一因がある、即ち彼等の總花的最後の賞與とも云ふべき銀の密輸であつた利に敏き彼等は八月初旬頃より十一月末迄每日少くとも二十五箱七萬五千圓余の動きで之れを總括すれば參千兩三千余函約一億元に達し時期により三割强の利益を得たるもあると言はれ更にそれを一般者側の意向を見るにそれは申す迄もなく兩替の自然消滅は物品の賣買に旅行者田舍出等が汽車賃を拂ふには高い手數を出して兩替して居た不便が一掃された譯で全國幣バーの余德は斯くして一般者に偏き王道樂土の輝きは黃金色のそれと國民は喜び讃えてゐる

淸明台市設市場 一月開業

【大連支社發】十二萬三千圓の豫算を以て建築中の晴明台

歲末同情週間寄附者芳名(二)

▲四五錢兒島光良▲七〇錢閣東軍電話交換室▲一圓花澤虎三、髙橋、萍緑、大野重勝潮谷ツネ、松永光太郎、樋口忠一郎、大西孫好、倉上百之進、山口義人、平野伊津美、柴屋亮之助、小川藤松、角田久雄、髙田幸利、植木萬治、松本亮▲二圓佐藤由治太郎▲十圓宛喜來定男、上野參一郎▲十錢宛岸本二郎、岩井具多足立宮松、野田松太郎▲金三十錢宛福井彌一、粂内文郎、宮内一男、小山猪虎志、服部鐵雄、久道龜吉、伊藤久由▲命明店、後藤依吉、菅野伍郎細野志摩之助▲五十錢宛中井勇吉、松本糺、檜垣光、岡部長治、川士安太郎、青田榮、佐藤勇三郎、青木春吉、堀籠昇、明範義、竹上由男、鈴木淸太、大塚力、荒木第四郎、相原道敬、石田武、北村鞭四郎、中尾佐市、細岡忠一、川崎文雄、満尾安二、大谷鶴雄▲二十錢宛足立宮松、野田松太郎、岸本二郎、岩井具多▲五錢宛森田卓次、齋藤正一、

西澤豐行、宇津政光、菊地武安、志賀口生▲十錢宛佐藤良太郎、町田伴二郎、横山春子言橋弘▲二十錢宛野村武、橋口榮一▲十錢須藤正彦▲二十一錢藤野太藏▲十錢宛田村大貫、松永健次郎、小澤惣一、田中、髙橋、須田正美、東、無名、時澤忠雄、木村正健、三浦四郎助、綠鳳鳴、境大和滿良、町田粉、吉木、安君仁前田、辻原美、長部、寧布、齊鳳殿外一名、王子卿、蔣志毅、外一名、宮度海、外一名、張崑外一名、王永福外一名、袁岳山外一名▲二十錢宛松下、本田豐、對書麟、王元、塔勳、張內川、矢野信義淸水件一郎、蒙政部商工科長野副、阿部嘉七、呂修、宮崎敏子、米山、巴全榮外一名高月正己、劉維新、崔殿璧外一名、郝殿臣▲三十錢宛、杉本保、王振東、余越貞、吉田薫、月形牛美、張世臣外二名、皆川國次郎、宮崎正新、▲五十錢宛辻晃、永島滿洲男李鴻昌、中谷進、古本滿夫、

家庭

氣になる隣の奧さん、お孃さん

＝この女性心理の考察＝

◇…奧樣でもお孃樣でも一番氣…になるのはお隣りの奧樣やお孃樣が自分のことを何と云つてゐるか自分の新しい着物に就いて何と批評するか、要するに最も手近にゐる同性の噂に最も手感です。井戸端會議或はゴシップがいつの世になつても榮える理由は、實に私共が最も多くそれに支配されてゐるからです。

◇…ではなぜ隣の人のいふことが、そんなに氣にもなるのでせうかこの人間の弱點を遡ると遠く原始時代に人間が一人でゐたのでは力も弱く生きてゆくのに不安を感じたので大勢で一緒に暮すこととなつた時、悉く指導者の動作を眞似ることとなつたのです。

◇…それが大勢で生活するのに…一番便利だつたから

これに背くものは嚴罰に處せられたものです。飛んで人間が言葉を發明し法律とか宗教とかいふものに制限されるやうになつた今日でも依然として自分の隣に居る人を眞似るといふ原始時代の習慣が現はれて奧樣が着物を作る場合にでも且那さんの奧樣の氣に入る前に先づ隣の奧樣の氣に入ることを心懸けるやうになるのです。

◇…その結果は自分に似合はない…着物でも隣の奧樣がほめてさへ下さればそれで滿足することとなりこの波は次から次へと波及して遂に或る時の流行を作ることとなります。そのために往々にして不恰好な流行さへ生れることとなります

冬休み　期間は短くとも　惡い癖がつき易い

家庭も學校も充分注意を！

小學校も中學校も女學校も、一せいに冬の休暇に入りました。夏休みに比べると期間は短く僅か二週間ですがこの間クリスマスがあり、歳末の繁忙お正月のお祝ひなどと各家庭はとかく忙しい、それだけ兒童の身心の悪影響が起り勝ちとなります。

無節制に流れ易い年末年始の家庭生活に兒童をまき込んではいけません、麻雀、かるた遊びで十二時近くまでも夜更しさせるのは絶對にいけないし假令お祝ひのためであつても酒氣を兒童に近づけないようにして下さい、夜更しから朝寝坊になるし、三度の食事も二度になり、間食を多くし忽ち胃腸をこはすようになります。

◇………◇

忘年會、新年宴會、何々の會何々の夕べなど、お父さんは醉つぱらふ機會ばかり作らずに、休暇中兒童と一緒に遊ぶ日を多くして下さい、特に都會の兒童は家族主義的な美俗からだんだん遠ざかつてゐますから、親類廻りや郷里の祖父母訪問、お寺詣り、お宮詣りなどに連れて行つて、兒童が良俗に親しむようよきパパとなつて下さい。

◇………◇

母親は子供の前でよそからおくられた贈答品の値ぶみなどしてはいけません「こんなつまらないものを」とか「安物をよこして」など主婦にあり勝ちなことですが、デリケートな子供の心に悪い結果を及ぼすから注意なさい、それから女學生などは割烹實驗の絶好の機會ですから、つとめて家事の手傳ひをさせるべきです。

◇………◇

學校の宿題――これは、またどうも負擔が重すぎるやうです。熱心のあまりかも知れませんが宿題は精選したものだけ少量課すべきで、少しでも過重になつてはいけない。冬休みを入學試驗準備の犠牲にしたり、甚だしきは登校させてまで勉強させるのは、兒童を殺すものです。歴史上の人物を考へてごらんなさい、詰めこみ主義教育で偉くなつた人は一人もなく、却つてのんびりした田舍からより多く人物が出てゐます。

◇………◇

休暇あけの兒童は潑剌としてゐなければならないのに、みんな疲れて了つた表情をしてゐるのは、從來休みへの注意が足りなかつたためです。むら咲きの花では決して良い實を結ぶものではありませんから學校も家庭もよく注意して下さい。

羞かしさに　どうして紅潮する

黒人には羞恥の感情がないか

黒人が、羞かしいと云ふ感情を顔や皮膚の上に現はさないのは、あのドス黒い皮膚の紅くなるのを陰蔽するからではなく羞かしいといふ感情が全然ないからであると嘗つて某外誌で報じてゐるが、果して黒人には

＝羞恥＝

の感情がないものでせうか？人間は高等になればなる程羞恥の度合が多く、下等な程羞かしさを感ずる程度が少ないといふのが學者間の説ですが、又身體の一部生殖器などに對する羞恥の程度は文明人程稀薄で、野蠻人程羞恥が強く、他人の眼に觸れないやうに蔽ひ隱すのも事實です、此の事は文明人と野蠻人の間のみでなく、同國人の貴族、上流人と下層人との間でも言ひ得ることです。

＝文明＝

人或は上流人は、生殖器を神聖なものと考へ野蠻人や下層人のやうに汚れたもの恥づべきものとしてゐないのです、併し此の事は文明人程羞恥を感ずる程度が甚しいといふ事柄と矛盾してゐるやうに考へられないでもありません。野蠻人は形あるもの、眼で見えるものには羞恥を感ずるが精神的な事柄には鐵面皮であるのも事實です、文明人といひ、野蠻人と呼ばれる人種の差別も、皮膚の色から分けられてゐるので、更に

＝醫學＝

的に云へば皮膚の甚底細層のメラニン色素の多い寡いに依るといふことが出來ます、黒人は此のメラニン色素が多く、白人は之と反對に少いのです、此の事は勿論氣候的な關係も多分にあるので、黒褐色は炎熱を逃避するに最適であり白色は寒冷を逃れるのに役立つのは誰でも知つてゐることです。羞しい時又は興奮した時等は直ぐ腦神經を刺戟し、その反射運動として血管運動神經が活動して、血管が擴がり、從つてその結果血液が増し血液の色素を反映して皮膚面が

＝紅潮＝

を呈するのです、血液内には一立方ミリについて三百五十萬から四百萬近い赤血色素があるのですから、皮膚の白いものは血管が膨脹し、血液が急激に増加すれば直ぐ紅く色が現れるわけです、しかし甚底細胞層にメラニン色素が多い黒人には、紅潮を呈すべき筈の色彩がかくされて了つて外部へ現れないので黒人は羞恥を感ずる程度が稀薄であることは十分認めますが以上説明した事柄も學問的には除外出來ないと思ひます。

坊ハ帽子ガホシインデスヨ
オヤオヤ流レンヂヤッタ
ナニガナイヨウダイ！
アエ！
御覧ナサイ、オ人形買ッテヤッタラモウ夢中ヨ
モウ帽子ハ用ナレカ
オイオイ人通リノナイ町ヲ歩カウヨ
アエ！

Great Britain rights reserved

けふの番組

廿七日（金曜）（MTUY新京放送局）

朝

六、三〇　建國體操（滿語）
六、五一　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　入港船の御知らせ（大連）
氣象通報
八、二〇　朝の音樂（大連）
八、三〇　經濟市況（東京）
九、〇〇　早晨演奏（大連）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　家庭講座　和洋禮裝の御注意　赤塚久子
一〇、二五　家庭メモ
一〇、三五　經濟市況（大連）

晝

一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、四〇　ニュース（東京引續き新京）
〇、〇一　經濟市況（大連引續き新京）
〇、二〇　晝の演藝（レコード）
端唄
一、香に迷ふ　小唄勝太郎
二、柳ぶし　小唄勝太郎
三、初春三下り　二三吉
四、かつぽれ　二三吉
五、月見草　市丸
〇、四〇　建國體操（滿語）
一、〇〇　白天演藝　汾河灣　單位拉劇　李俊峰　崔藍田　夏文魁　陳慶元　絃　胡琴　南絃　鼓
一、二〇　ニュース（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）　引續き　日用品値段（滿語）
二、二〇　成人講座（奉天）　康德二年之回顧　奉天省公署警務廳長代理　警務廳保安科長　洪怡賢
二、四〇　下午演奏（東京）
二、五〇　經濟市況
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連引續き新京）
三、五〇　ニュース（鮮語）
四、三〇　ニュース（鮮語）　引續き　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（仙臺）　JOHKこども會
うたとお話　昔の子供唄（仙臺地方）　錫木碧
五、二〇　コドモの新聞（東京）　村岡花子
五、二五　氣象通報・番組豫告

夜

六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　今晩の番組
官廳公示
六、二五　政府公報（滿語）
六、三〇　國民の時間（滿語）　滿軍與討匪行動之實況　軍政部軍事調査部長　王之佑
七、〇〇　ジャス　大川ファンニー・シックス・バンド　指揮　大川操
一、邪魔はさせない（フォックス・トロット）
二、獨り居（スロー・F・トロット）
三、鯨のある女（ワルツ）
四、ハレムの丘（フォックス・トロット）
五、忍び寄るエルム（ジグデンボ）
六、バナマ（ブルース）
（ルムバ・フォックス・トロット）
七、姿をお探し（スロー・フォックス・トロット）
七、二〇　義太夫（東京）　双蝶々曲輪日記（引窓の段）　彈語り　竹本小仙
八、〇〇　連續ラヂオ小說　歐化燈（二）　泉鏡花原作　喜多村綠郎
八、三〇　時報・ニュース（東京）
八、四五　ニュース・經濟市況　引續き　氣象通報・番組豫告（滿語）
九、〇〇　舊劇（哈爾濱）　珠簾案　唱　曹冠英　于恒演　李盧鈞　呂升三
一〇、〇〇　北滿の時間（哈爾濱）
一、講演（分配セリ）
二、レコード「エイ・ウフネム」
三、ニュース

お料理獻立

牛肉のガランチン

けふはお子様方のお集りに喜ばれるお料理を申上げませう

「材料」（五人前）牛挽肉七十匁、ホイルド、ハム二十匁、食パン二十五匁、鷄卵一個、人參一個、青豆（グリーン、ピース）大匙一杯、白菜一株の四分の一、サラダ油大匙二杯、酢大匙二杯、鹽、胡椒少々

ハムは細切り人參はせん切をさつと茹で、食パンは水につけてしぼりハム、挽肉、パン青豆、人參の半量を合せ長い丸形にまとめ布巾に包んで一時間程茹でゝから冷しまして切り、白菜サラダを添へて出します

子供雜誌の新年號から

◇幼年倶樂部　菊池寛の「鎭西八郎爲朝」小島政二郎の「狼に追はれて」を獲得したのは手柄だ、其他、新年號から始まつたものは「黒雲島」久米元一「水戸三郎丸」大河内翠山「三休ナン」ミヤオシゲオ「でぶ太長吉」根岸みどり

◇特別讀物集に、大下宇陀兒の「かへらぬ京子」坂東太郎の「關口彌太郎」狹間祐行の「ジンギスカン」の三篇がある

◇前號から引續いたものには山中峯太郎の「見えない飛行機」が孤軍奮鬪の形だ。

◇呼物の七大附錄の中では、やはり漫畫本「コグマノコスケ」「大力角兵衛」が特に抽んでた力を示してゐる。四六倍判、堂々たる大册であり、内容も面白く、邪氣のないのが、この雜誌らしくてよい。

◇掌本「面白いあそびの本」「面白い笑話の本」「面白いゑのかき方」三册は小ヂンマリ纏つてゐる、感じのよいものだ。其他に「東郷元帥出世双六」「いろは双六」が裏表になつてゐるが繪も文句も、相當嚴選を經たらしいのが、この雜誌らしい快よさを感じさせる。定價五十錢は、量だけを見てもさすが〳〵である。

酵母菓子! ビスコ
ビスコおいしくて強くなる
おやつに、食後に最もよろしく コーヒ又はお茶の友として風味格別と高評です

鑛山用機械各種
金鑛製錬設備一式設計請負
搗鑛機 給鑛機 碎鑛機 ウイルフレー搖鑛機 砂金採取機 各種鑿岩機 壓縮機
重油并蒸氣機關 發電機 發動機
津田式タルマポンプ 津田式深井戸ポンプ サクションゴムホース
津田式ポンプ 新京配給所
合名會社 松田清商店

割烹
三樂園
梅ヶ枝町五丁目
電(三)三七三四
安くて美味しい
●梅ヶ枝料理
●乘合舟
●其他一品料理
御一人前 三圓
宴會
百人
様迄

十二月十日ヨリ三十日マデ
景品付大賣出し
森履物店
三笠町二丁目
電③二二八九

チップが少ないとてお客樣を袋叩き
不埒なモナミの傭人大ぜい　遂に告訴沙汰となる

密殺肉を販賣して科料十圓に處せられた市内吉野町三丁目カフエーモナミは、その處分にも更に改悛の狀なく、二十五日クリスマスの夜の遊客にチップを强要し客が應ぜぬに憤慨しマネーヂャーを始めマスター山本其他數名が歸宅せんとする客をとりまき袋叩きにし遂に告訴された事件が勃發したが、打ちつゞくカフエー街の不祥事は市内に一大衝動を與へてゐる

市内 祝町喫茶と洋酒「ゆりかご」マダム北條たま子こと金藤たまさんは、廿五日店を閉めたのち某氏に招かれて同店バーテンダー大西氏外數名とチナミに到り、約四圓餘の飲食をなし某氏は飲食代を支拂ひチップ二圓を與へ、一行は表に待たせてあつた自動車に乘り歸宅せんとする刹那、同カフエーマネーヂャー某が屋外に飛び出して來て矢庭に自動車中の金藤さんを捕へ『北條たま子ともあらうものがチップを置かずに歸るとは何事だ』と暗にチップを

强要 しいきなり車中より引ずり出し亂暴を加へるので同行の大西氏がマダムの身を案じて車外に飛び出すや、マネーヂャーは大西に一撃を加へその中店内から主人山本を始め數名がばら／＼と現はれ、一行をとりまき袋叩きにし金藤さんは羽織を滅茶々々に破られ、大西氏は顔面に全治數日の打撲傷を負はされたので、二十六日新京署に告訴狀を

提出 した、署では双方につき嚴重取調べの上若し事實とすれば許すべからざる問題として斷乎たる處置に出る模樣である

西田、星兩憲兵少佐　安東と公主嶺へ榮轉す
今夕ヤマトホテルで送別宴

今回の關東憲兵隊司令部管下の人事異動で新京憲兵隊本部副官西田少佐は安東憲兵分隊長、同新市街分隊長星少佐は公主嶺分隊長に榮轉した、西田少佐の後任は内地から久米少佐、星少佐後任は同樣内地から石原建一大尉が來任することに決定した、なほ兩少佐の送別宴を廣石新京署長、谷口首都警察廳警務科長發起で廿七日正午大和ホテルで盛大に行ふことになつた

新年互禮會は正午開催

新年互禮會は時間未定のところ、一日正午から記念公會堂で開催されることに決定、その次第は左の通り

一、一同着席
二、開會
三、國歌齊唱
四、祝詞　川村總領事
五、開宴
六、大日本帝國萬歳　張國務總理
七、大滿洲帝國萬歳　南軍司令官
八、閉會

なほ參會は千二百名の見込みである

元旦拜賀式　總領事館官邸で

昭和十一年一月一日午前九時四十五分から同十時四十五分までの間新京總領事館構内參事官々邸で新年拜賀式を擧行する旨告示された

北平天津見學　締切り迫る

ツーリストビユーローで募集中であつた年末年始休暇利用の上海、靑島視察團は二十五日で締切つたが新京からの參加者は七名、大連での總數は八十名に達してゐる、なほビユーロー、鐵路總局旅客課共同主催で募集中の北平、天津方面視察團も後二日で締切りとなつてゐるから希望者は驛前ビユーローまで申込まれたい、會費は大人六十圓、子供五十二圓、日程は三十日奉天發、三十一日山海關、一日天津、二日北平、四日奉天着

開院式より還幸の鹵簿に　直訴をはかる
淀橋區居住の漁業家

【東京國通】廿六日午前十一時十七分議會開院式に親臨還幸の　天皇陛下の公式鹵簿が祝田町に差掛つた際奉拜者の中から四十四、五歳の男が突然鹵簿の直前に二、三歩飛出したので、警戒中の飯塚巡査が直ちに逮捕、丸之内署に引致した取調べの結果此男は淀橋區柏木二丁目漁業家小出秀也（四五）で懷中に直訴狀を所持してゐた、同人は以前樺太で漁業に從事、現在では靜岡に漁場を持つてゐるが直訴狀には

自分が以前樺太で漁業をやつて居た頃は軍隊が駐屯してゐてやり好かつたが現在は撤廢されたのでやり難くなつた、再び軍隊を駐屯させて欲しい

との意味が認めてあつた

これは殺生な　カフエー泣かせ
宴會三十五人分の注文は　電話の惡戲と判明

つひ數日前地方事務所地方係の名を以て、吉野町四丁目カフエー世界へ電話で、「明日そちらで二十人ばかりが忘年會をやるから用意を頼む」と金額まで決めて注文した者があつたが、同カフエーではさきに商業學校の名で三十六人分の宴會を引受けたところ當日になつて誰一人それらしい者が來ないので、同校に問合はすとそんな注文が全然ないといふ始末で、用意の料理全部を台なしにした苦い經驗があるので、まさかとは思ひながら地方事務所に今一應連絡のために出掛けたところ、地方係はおろか各係でどこでもそんな注文したところなく電話の取りもつ惡戲と判明したが、かうした惡戲は最近しば／＼行はれてゐるやうである

歳末の街の紳士！
惡德朦朧記者に注意
＝新京署岡田高等主任談＝（上）

年末を控へ新聞雑誌の朦朧記者横行につき新京署高等係では嚴重取締を行つてゐるがなほ一般に對し岡田主任は左の如く注意を喚起してゐる

年關の切迫に伴れて新聞雑誌の恒例による祝賀廣告や、購讀豫約の勸誘募集が、廣く銀行會社を始め、一般家庭に向つて漸く頻繁に行はれてゐるのであるが、之等に從事してゐる者の中に多數の惡德朦朧社員が混つて居り、名も知れぬ新聞雑誌を肩書に勸誘募集を行ひ、或は甚だしきに至つては、現に存在しない架空の社名を濫用して之を行ひ、剩へ之に應じない者に對しては脅し文句を使つてまで强要をしてゐる輩がゐると言ふことは、屢々耳にも入り現に發見次第に嚴重に處分を行ひ、此の新京から之等の惡德者流を一掃することに努力してゐるが、依然として根絶を見ず陰に潜行して市民多數に不快の感と迷惑を掛けてゐるやの形跡あることは、寔に遺憾と言ふ外はない

◇……◇

吾々警察の立場から言へば恒例によつて、相互に紳士的に行はれる祝賀其の他の廣告申込みや購讀豫約勸誘をなすことに就いては、何も干涉すべき筋合ではなく、寧ろ當事者側相互の必要に基くものとして當然の行爲と看てゐるのであり從つて右の場合等に於ては相互に何等の不快もなく對等の契約として成立するのであるが、反之所謂惡德朦朧者は其の背景が多く信用權威のない爲めに、當然その勸誘募集には簡單に應じられないことを通例とする、そこで彼等は紳士的にやつてゐては目的を果されない爲めに、勢ひ動もすると新聞雑誌を肩書にして何等かの因縁を吹き掛けて脅し文句を並べてその目的を遂げんとするのが常套手段であるが、之等の手合に訪問を受けた側でも、相手が言論機關を背景にしてゐると言ふことによつて、その吹き掛けられる因縁の眞否に拘らず所謂後難を虞れて彼等の强要を拒絶せず、嫌々ながら幾分か乃至は相當以上の金錢を提供して、その場を拂ふと云ふ樣な場合が尠くない樣であるが、彼等の手段こそ誠に苦々しき限りで、單に訪問を受けた者のみの迷惑に止まらず、それ等の横行が一般社會に惡結果を致すことは言ふまでもないことで、實に現代世相に躍る惡の華の雄たる存在である所以でもある

◇……◇

元來廣告募集や購讀豫約に關しては既に衆知の如くその新聞又は雑誌が權威あり信用のあるものは假令社業擴張の爲めにこれを行つても斷じて强要がましい言動を以てするものではなく又其の社員從業員も人格的で而も多くは面識ある社員をして訪問せしめるとか、夫々信用ある方面の紹介によつて紳士的に行はれてゐるのが通例であつて自然勸誘申込を受ける側でも愉快に安心して應待が出來又それに應じてゐるのであつて假りに之に應じ難い事情があつても克く相互諒解出來る關係に在るものである

然るに惡德者流になると先ず以て「肩書」で金を求めることが普通であり、而も態度が多く不快のものである、處が被勸誘側では數社或は數十社甚だしいのになると何百社と言ふ多種多樣の之等の要求があつても、凡そ豫算もあれば方針もある爲めに、一々之に應ずることは出來ず、殊に名も知らぬ新聞雑誌に一々交際するわけに行かぬであらふ處から、一應それを斷りでもしやうものなら前言つた筆法で不良惡德振りを發揮する、そして何とか色をつけて貰へるまではッベコベ言つて動かふともしない、そこでウルサクはあり長居されては此の上迷惑だと言ふ意味で、嫌々ながら若干の援助をすると言ふ有樣で、現に多數市民各位の中には之等の手合に相當惱まされた方もある模樣であるが、敬遠的に彼等を援助されることが、却つて結局彼等の横行をなさしめることとなるものに付いても、大方の御一考を煩はし度いものである

名殘りを惜みつゝ　原田書記生轉任
八年六ヶ月の在任思出話

在任八年六ヶ月間新京總領事館司法にあつて市民を庇護し又多忙な裁判事務を處理した原田英夫書記生は今回の外務省異動で吉林總領事館勤務を命ぜられた、出發を前にし左の如く語つた

私の着任したのは昭和二年八月で實に暑い日でした、當時は張學良の排日が猛烈で邦人は附屬地外へは一歩も出られないと言つた始末で、城内に居住してゐた邦人三百人は日一日と減少し三年六月ごろは僅か六十人となつた、この六十人はいづれも支那人を相手の商賣であつたが、張學良は部下に命じて邦人に課税をなしこれが交渉には相當手をやいた、つゞいて起つたのは例の露支事件であつた、この時自分は支那係を擔當した。張學良が吉林、南嶺の部隊をハルビン輸送にあたり、當附屬地即ち新京驛を通過するに當り、領事館になんら交渉なく武裝部隊を續々と移動さすので、これが停止を命じたところ、張學良は吉林の部隊の輸送を便ならしめるため東站から寛城子に新線を敷設せんとしたので、これまた條約に基き停止を命ずるなど言語に絶するものがあつた、その後も依然として排日はさかんで邦人に對する迫害は附屬地外では毎日の樣に起つた、六年九月滿洲事變が突發し新京は全くの多忙であつた、事變直後聯盟調査團リットン卿一行の來京で調査資料の蒐集に努力し續いて滿洲國建國の盛儀に臨んだが、建國の盛儀を皇居の地で見ることの出來たことは一生忘れられないものである、更に自分の直接の事務である司法事件は事變前までは一ヶ月僅かで、複雜化した事件もなく、實に平和な部落であつたのが、事變後は極度に增加し事件の性質は惡性となり着任當時とは全く異つたことは驚かざるを得ない、今去らんとする新京は第二の故鄕である、懷しい親しみのある故鄕を跡にすることは心殘りがしてならない、なほ同氏は二十八日午前十時二十分家族同伴で赴任の豫定である

愈よ明日から學校はお休み
來年は六日から

お正月、お休みと待ち遠しかつたこゝ十日ばかりの兒童たち、いよ／＼あすは通信簿をもらつて、明日からお休みが始まります。お休みはどの小學校も五日までゞ六日から第三學期が始まります。

ヤマトホテルの聖誕祭賑ふ

新京ヤマトホテルのクリスマス晩餐は滿鐵が運轉したクリスマス列車を利用し南方沿線からの來會者と加はり四百數十名の多數に上りこれを二回に分ち食堂を開いたが大食堂の天井を摩するクリスマスツリーに飾りつけを始めグリルの女給仕の手古舞姿など趣好を凝らし來客をアッと云はした待合せの間グリルで活動漫畫をうつし、開宴中は大食堂の假設舞台で高砂少女樂劇團の演奏佐藤イリ子松本春美兩孃の舞踊があり宴酣なる頃サンタクロースが大袋を肩には現はれ童男童女にプレゼントを頒ちヤマトホテル設けられて以來の盛會であつた

新京神社の年末年始祭典
―元旦の行事を中繼放送―

新京神社では年末年始恒例祭並びに臨時祭典を左の日時に興行する

△三十一日午後四時大祓式、同二十分除夜祭
△一日午前零時安全祈願祭、同九時歳旦祭
△二日午前十時元始祭

なほ元旦午前零時から安全祈願祭には中央放送局で元旦詣りの實況中繼放送をなす

柔道有段者調べ

全滿柔道有段者會では同會員名簿作成のため、有段者調査を行ふことゝなつたが申込は至急地方事務所社會係へ

滿洲國成長の跡をフイルムに
―國務院情報處の計畫―

明年は滿洲國生れて早くも五年―國務院情報處はこれを機會に國家創生の苦しみからゆるぎなき現在に至る迄の建國五年間の歷史をフイルムに收め廣く世界に宣傳する事になつた、フヰルムの一駒一駒は滿洲國成立、執政就任式、リットン調査團の來滿から日本の承認、航空路の擴張、帝政實施、北鐵買收、皇帝の御訪日等滿洲國五年間の全貌を細大洩らさず記錄してゐる

氷上フイギュア一行「安東に入る」

【安東國通】安東に於てエキジビションを行ふ爲下車したフイギュア大石監督並に老松主將以下七名は安東ホテルに入つたが、大石監督は語る

今回の豫想は大體入賞出來る自信を持つてゐますが、何と云つても强敵はオーストリヤです、今回は二回目の出場ですが大いに頑張つて來ます

一行の紅一點我等の豆選手稻田悦子さん（十二才）をつかまへて「どうです、滿洲は寒いでせう」と云ふと、丸い目をクリクリさせて「ちつとも寒かあらへん、芝浦リンクの方がもつと寒いよ」と極めてあつさり「勝てる自信はある」「誰が一番强いと思ふ、オーストリヤのソニア・ヘニーさんはどう思ふ」「そんなこと聞いたつて知らへん」と子供らしい率直さで記者を煙にまいた、一行は午後一時から三時までエキジビションを行ひ一泊の後廿七日ひかりで奉天に向ふ豫定である

門松に放火

市内浪速町二丁目六番地及川彌重エ門氏は二十五日午後十時過ぎ新京驛から新年用門松時價七百餘圓を運搬し公學校側路上に積んで置いたところ何者か放火したらしく全部燒失した屆出により新京署では犯人嚴探中

地方委員會　追加豫算附議

新京區地方委員會は二十七日午後一時から地方事務所長室で開催

一、昭和十年度增收充當に關する件
一、戸數割中途賦課査定の件
一、第六小學校に對する寄附金使途に關する件

その他を協議のはず

滿洲國郵局　切手帖を發賣

滿洲國郵局では二十六日から全國一齊に一錢五厘六十枚、三錢三十枚の切手帳を發賣したが年末年始の贈物として歡迎されてゐる

神守課長來京

滿鐵地方部神守庶務課長は二十六日午前八時五十分着來京ヤマトホテルに入つたが數日間滯在の豫定

本社・歳末讀者奉仕
豐樂劇場　半額優待
廿七日より卅日迄サービス

新市街に君臨新京興行界の王座を誇る豐樂劇場は開館以來近代的諸設備を整へた絕好の映畫大劇場としてパラマウント、フオックス、P・C・L等の和洋新作品を連續的に封切り堂々滿都の人氣を浚つてゐるが、本社では歳末讀者奉仕として同劇場二十七日より三十日までの歳末興行とタイアップして優待半額券を發行讀者慰安の一端に資することになつた、普通料金は階下七十錢、階上一圓であるが、本紙愛讀者は夕刊演藝面刷込み「半額券」を利用されたい、上映々畫はフォックス日本版「世界は動く」とパラマウント日本語版「生命の雑音」の大作併立に漫畫、ニュースを加へた番組である

無料バスも運轉

尙同劇場は開館以來、終演後の觀客の便宜を計つてバスの運轉を實施してゐたが、二十七日より以後は當分の間右バスの運轉を無料で奉仕することになつた

需品局出火　二消防手負傷

營繕需品局の出火に際し、首都警察廳消防署消防手李錫葉氏は左手首關節に長さ三寸、深さ骨膜に達する裂傷を負ひ、直に東洋病院に入院應急手當を受けた、金總監は右兩名に對し金一封を見舞した

帝キネ開館披露

帝都キネマの開館披露興行は二十五日午後一時より廣く特殊關係者を招待、夜間は一般に無料開放して盛大に行はれたが改裝せられた諸設備は新に据付けられたスウパーシムプレックス・ウエスタン再生裝置と共に好評を博してゐた

寄附 市内吉野町一丁目廿三、本橋氏は二十六日貧民救濟として金二十圓を新京署に寄附した

寄附 總務廳需用處長小泉三郎氏は今回子息の八島校より日菊校轉校に際し在學記念として二十六日同校父兄會へ金二十圓を寄附した

愛よ戰ひとれ

（百十四）

（滿洲上演映畫化）　福田正夫　泉武久畫

醍醐（七）

「おや！」

珠江もさつと蒼くなつたが、俊一はそれよりも烈しくふるへると

「またくる」

と、つぶやいたのである。

「まあ！」

勝美がとび上つた。

が、俊一は力なく扉をしめると、うなだれて歸らうとした。とぼとぼと二三歩、勝美はすぐその兄に追ひついた。

「兄さん！」

二人は向き合つた。

「歸つて頂戴」

「いやだ」

「どうして？」

「どうしてもいゝ」

「わかつてゐるわ」

「え？」

「姉さんがゐるからでせう」

「さうだ」

俊一は沈痛にいつた。

「僕はあの人に逢つてはいけないのだ」

「まあ！」

「そしてあの人も……」

彼は指をふつて、空に破滅―

―と英字をかいた。それは冗談してゞはなくて、苦しく思ひつゞけてゐることに、指先がたどどいたのである。

彼はいひつゞけた。

「あの人も、僕に逢つてはいけない」

「卑怯ねえ！」

「どうして？」

「兄さんは、其様苦しい心持で、あの人を取りそこなふわ」

「その通りだ」

俊一は喘いだ。

「僕はもう取りそこなつてしまつた」

蒼い血の氣の失せた顔――いつか涙がほそくそとをつたはつてゐた。勝美は悲しくそれをみつめて、

「歸つてよ」

と、たのんだのである。

「いやだ」

「あの人も、はなしてわかつたのよ」

「そんな……」

彼は怒つたやうに呟いた。

「朝三暮四は許されない」

「でも、人間にはまちがひといふこともあるわ」

「いゝや！」

俊一は頑強だつた。

「僕達ははなしたのだ。そしておれは、はつきりわかつた。それでいゝと思ふ。あきらめるんだ。おれはあの人を愛してゐるから、あきらめなくてはならないんだ」

「なんのために？」

「あの人を世に出すためだ」

「まあ！」

「あの人も、……僕を破滅させないためにその道を選んだ。……さうだ、自分で犠牲をしようてゐる」

「でも、……もう、そのことはわかつたのよ」

「いゝや、僕もあの人と同じでいゝ」

俊一には、勝美の言葉が耳に這入らなかつた。

「僕も、僕も、犠牲をしよふのだ」

機會といふものは、取り逃がしたら歸らないものだ。

「僕はまたくるから……」

それだのに彼はさういつて立ち去らうとするのである。